

2020(R2)年度 広島市現代美術館年報

ANNUAL REPORT 2020

Hiroshima City Museum of Contemporary Art

2020(R2)年度
広島市現代美術館年報



目次

Contents

特別展 Special Exhibitions	2019(R1)年度 (当初予定)	式場隆三郎:脳室反射鏡	03
	2020(R2)年度	無辜の絵画 巖光、峻介と戦時期の画家(開催中止)	04
		第11回ヒロシマ賞受賞記念 アルフレド・ジャー展(開催延期)	05
<hr/>			
コレクション展 Collection Exhibitions	2019(R1)年度 (当初予定)	2020-I コレクション・ハイライト+特集1「大地」+特集2「宿命の芸術」	07
	2020(R2)年度	2020-II コレクション・ハイライト+特集「わたし(肖像)」	11
		2020-III コレクション・ハイライト+特集「〈原爆〉を見る」(開催中止)	17
<hr/>			
普及事業 Educational Programs	2020(R2)年度	夏のオープンラボ:澤田華 360°の迂回	19
		ビデオアートプログラム A 世界に開かれた映像という窓	20
		ビデオアートプログラム B コレクション作品上映	21
		ツキイチ・ワークショップ(オンライン配信)	22
		ゲンビ・リコレクション 展示編	23
		ゲンビ・リコレクション ワークショップ編	24
		美術館にワシの絵を!〜千鳥スペシャル展示	25
		みんなでカウントダウン	25
		小企画 コレクション・ハイライト	26
		ゲンビ・休館前イベント「また会う日まで」	28
		美術館利用促進事業	30
<hr/>			
館外活動 Activities Outside the Museum	2020(R2)年度	ゲンビどこでも企画×ゲンビ「広島ブランド」デザイン スペシャル公募 2020	32
		館外コレクション展 A 市内編「どこかで?ゲンビ」	33
		館外コレクション展 B 市外編	36
<hr/>			
その他 Others	2020(R2)年度	収集作品目録	39
		作品の貸出・寄託・移設記録	46

特別展

Special Exhibitions

式場隆三郎:脳室反射鏡

Ryuzaburo Shikiba: Mirrors of Cerebral Ventricles



実施会期 2020年5月19日(火)～7月26日(日)
当初予定 2020年3月14日(土)～5月17日(日)
会場 展示室A-1～4
観覧料 一般1000(800)円、大学生700(600)円、高校生・65歳以上500(400)円、中学生以下無料 * ()は前売り及び30名以上の団体料金
主催 広島市現代美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
協賛 ライオン、大日本印刷、損保ジャパン
特別協力 医療法人式場病院
後援 日本民藝協会、新潟大学医学部学士会(有任会)、広島県、広島市教育委員会、広島エフエム放送、尾道エフエム放送
助成 公益財団法人ポーラ美術振興財団
入場者数 2,562人

開催趣旨 式場隆三郎(1898～1965)は現在の新潟県五泉市に生まれ、新潟医学専門学校(現・新潟大学医学部)に学んだ精神科医である。医業のかたわら、民藝運動、ゴッホ論、心理学入門、性教育書に至る驚くべき健筆をふるい、生涯の著書は約200冊に及んだ。また、ゴッホ複製画展や山下清展などの事業も手がけ、幅広い大衆の関心と趣味を先導した人物でもあった。その極めて広範かつ啓蒙的な活動は、私たちの芸術観の形成にも影響を及ぼしている。展覧会の副題「脳室反射鏡」は、式場による1939年の著作から採ったものである。彼の造語になるこの文言は、科学と芸術の両極を往還した特異な個性を象徴するものと言うことができる。本展では、その多彩な足跡を「芸術と医学」「芸術と宿命」「芸術と生活」という観点から、約200点の作品・資料を通じてたどった。なお、本展は新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館にとまひ、会期を変更して開催、関連イベントはすべて中止した。

カタログ 『式場隆三郎「脳室反射鏡」展図録』
発行:新潟市美術館、広島市現代美術館、練馬区立美術館、美術館連絡協議会
発行年:2021年 / 総頁数:本文276頁+付録8頁

オンラインによる情報配信

4月8日(水) 「純無観客美術館:休館中につき、自分たちでやってみて!vol. 2」
4月17日(金) 「純無観客美術館:休館中につき、自分たちでやってみて!vol. 3」
4月18日(土) 「おうちで式場展:式場隆三郎「脳室反射鏡」SPECIAL CONTENTS」
4月23日(木) 都築響一「誌上展覧会」
4月27日(月) 「純無観客美術館:休館中につき、自分たちでやってみて!vol. 4」
「バーチャル展覧会」

連携企画

7月18日(土) 関連上映「裸の大将」
会場:広島市映像文化ライブラリー

関連記事

●新聞
「おでかけナビ/ミュージアム」、中国新聞(セレクト)、7月23日、10面
「情報交差点/ミュージアム」、中国新聞、7月25日、8面
「評 展覧会」、高橋咲子、毎日新聞、11月19日、21面
「コロナ禍 新たな鑑賞・創造模索」、井上晋治、読売新聞、12月10日、19面
「この1年 [美術] 美術館のあり方再考を促す」、高橋咲子、毎日新聞、12月11日、22面
「美連協奨励賞に式場展」、読売新聞、2021年4月15日、27面

●定期刊行物(雑誌)
「アート」、経済春秋、8月号、38ページ
「特集 新型コロナウイルス奮闘記」、美連協ニュース、8月号、8ページ

「展示アニュアル 2020年の展示」、展示学、60・61号、70ページ
「BOOK 式場隆三郎と重なる、1冊への情熱」、中島水緒、美術手帖、2021年8月号、211ページ
●定期刊行物(その他)
「特約店じょうほう」、ドゥプレタイムス、7月号、4ページ
「式場隆三郎展関連上映「裸の大将」、広島市映像文化ライブラリー、7月号、4ページ

* 出品目録および今回掲載分以前の関連記事については、2019(R1)年度年報を参照のこと

無辜の絵画 靨光、峻介と戦時期の画家

—Les Peintures Innocentes: Ai-Mitsu, Shunsuke, et les Peintres en Périodes de Guerre
The Innocent Paintings: Ai-Mitsu, Shunsuke, and the Painters of the War Era



連携企画
2021年 靨光をめぐる映画&メディア・レクチャー
2月28日(日) 会場:広島市映像文化ライブラリー
映画「復活」(監督:渡邊聡、2015年)上映
講師:藤崎綾(広島県立美術館主任学芸員)

関連記事
●新聞
「美術館 再開の動き広がる」、福田彩乃・城戸良彰、中国新聞、5月12日、13面
「美術館 作品輸送に悩み」、福田彩乃、中国新聞、6月12日、13面
●定期刊行物(雑誌)
「全国主要美術館&博物館リスト」、芸術新潮／付録「芸新しずめ2020」、12月号
「美術館スケジュール」、美術展びあ2020、92ページ
「Preview & News」、美術屋百兵衛、4月号、215ページ
「加盟館展覧会案内」、美連協ニュース、5月号、23ページ
「新刊案内」、美術の窓、8月号、124ページ

開催中止
当初予定 2020年5月30日(土)～7月19日(日)
会場 展示室A-1～4
観覧料 一般1,200(1000)円、大学生900(700)円、高校生・65歳以上600(500)円 ※()内は前売りおよび30名以上の団体料金
主催 広島市現代美術館、中国新聞社
後援 広島県、広島市教育委員会、広島エフエム放送、尾道エフエム放送
特別協力 大川美術館、東京国立近代美術館、広島県立美術館

開催趣旨 靨光は、1907(明治40)年、広島に生まれた。10代後半に上京し、芸術家の集う街で多くの刺激を受けながら、自らの画風を追い続ける。幻想的でありながら、ものそのものに肉薄する細密描写と、東洋画の伝統的な表現にも影響された独自の画面は、緊張感に溢れ、なにもものにも代え難い絵画固有の美を体現するが、終戦直後、上海において38歳で戦病死した。
松本峻介は、1912(明治45)年に東京で生まれた。大都会となりつつあった首都をみつめ、そこから題材を得てイメージの交錯する独特の世界を生みだした。戦時中の「生きてゐる画家」の発言に見られる、厳しい時代の中で自らを見失うことのないように律するその姿勢は、結晶のように彼の作品に潜み、わずか36歳で病のため亡くなるが、その絵画のもつ輝きは多くの人々を魅了している。このたびの展覧会では、被爆75年を迎える広島において、彼ら二人の作品と共に、同じ時代を生きた作家の、戦争のもと多くの困難を伴いながらも描かれた作品により、絵画のもつ力を再考する機会とする。
なお、本展は新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催中止とした。

カタログ 『無辜の絵画 靨光、峻介と戦時期の画家』
発行:国書刊行会 / 発行年:2020年 / 総頁数:336頁

●定期刊行物(その他)
「展覧会カレンダー」、新美術新聞、3月21日号、6ページ
「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、5月号、10ページ
「展覧会(美術)」、博物館研究、5月号、33ページ
「文化財団からのお知らせ」、文化情報マガジン to you、6月号、4ページ
「展覧会(美術)」、博物館研究、6月号、36ページ
「展覧会(美術)」、博物館研究、7月号、42ページ
「ブックレビュー」、新美術新聞、7月21日号、4ページ

第11回ヒロシマ賞受賞記念 アルフレド・ジャー展

The 11th Hiroshima Art Prize
Alfredo Jaar

開催延期
当初予定 2020年7月18日(土)～10月18日(日)
会場 展示室B-1～3
観覧料 一般1,200(1000)円、大学生900(700)円、高校生・65歳以上600(500)円 ※()内は前売りおよび30名以上の団体料金
主催 広島市現代美術館、朝日新聞社
後援 広島県

開催趣旨 ヒロシマ賞は、現代美術の分野で人類の平和に貢献した現代作家の業績を顕彰し、世界恒久平和を希求する「ヒロシマの心」を現代美術を通して広く世界へと伝えることを目的として、広島市が1989年に設置、3年に一度授与するものである。本展は、その第11回受賞者に決まったアルフレド・ジャーの受賞記念展である。1956年にチリのサンティアゴに生まれたジャーは、建築と映像制作を学んだのち、1982年に渡米し、以後ニューヨークを拠点に活動している。1980年代半ばに、写真とライトボックスを用いた作品や、屋外の広告掲示板を用いた作品を発表し、一躍注目を集めた。以来、一貫して世界各地で起きた歴史的な事件や悲劇、社会的な不均衡に対して、綿密な調査に基づくジャーナリスティックな視点を持ちながら対峙してきた。その作品は、写真、映像、さらには建築的な空間造形を伴った、五感に訴えかけるようなインスタレーションを特徴としている。日本で初めての本格的な個展となる本展では、これまでの代表作とともに、ヒロシマのための新作を展示する。
なお、本展は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、作家の来日が見込めず、美術館改修工事完了後の2023年に開催延期とした。

関連記事
●新聞
「被爆75年事業 遅れや延期」、明知準二・寺本菜摘、中国新聞、5月21日、18面
「ヒロシマ賞記念展を延期」、朝日新聞、5月29日、25面
「ヒロシマ賞記念展は23年夏」、朝日新聞、8月8日、29面
「グランプリ結果」、美術の窓、3月号、78・90ページ
「加盟館展覧会案内」、美連協ニュース、5月号、23ページ
「全国展覧会スケジュール表」、美術の窓、7月号、173ページ
●定期刊行物(その他)
「受賞者が決定しました」、ひろしま市民と市政、2019年11月1日号、3ページ
「展覧会カレンダー」、新美術新聞、2019年3月21日号、6ページ
●定期刊行物(海外・雑誌)
「News Awards」「News TIMELINE」、art asia pacific、VOLUME XIV、55・59ページ

コレクション展

Collection Exhibitions

コレクション展 2020-I

コレクション・ハイライト＋ 特集1「大地」＋特集2「宿命の芸術」

Collection Highlights & Special Feature 1: The Earth / Special Feature 2: The Art of Fate



実施会期 2020年5月19日(火)～9月27日(日)
当初予定 2020年2月29日(土)～5月6日(水・休)
会場 展示室B-1～3
入場者数 4,018人

開催趣旨 「コレクション・ハイライト」では、主に「立体」作品を紹介する機会とし、ブロンズ像や木彫といった彫刻作品のほか、作品が設置・展示される空間までもを含めて作品と見なすインスタレーションなど、ダイナミックかつ繊細な表現を紹介した。最初の特集では、死者が還るだけでなく、新しい命が生まれ、育まれる場でもある「大地」をテーマに、多様なアプローチや方法によって制作された作品を概観した。二つめの特集は、特別展「式場隆三郎:脳室反射鏡」の開催を機に、精神科医の式場が、芸術病理学の立場から、特異な性格・性質をもった芸術家たちの生涯と作品を分析した著書『宿命の芸術』に着想を得て企画。芸術家たちが己と向き合いながら、それぞれの「宿命」をいかに引き受け、比類なき表現へと結実させたのか、作品を通して考察した。

オンラインによる動画配信

4月4日(土) 「無観客美術館:臨時休館中につき、自分たちでやってみた! vol.1」

関連記事

●新聞

「情報交差点/ミュージアム」、中国新聞、8月29日、16面
「おでかけナビ/ミュージアム」、中国新聞(セレクト)、9月3日、10面
「情報交差点/ミュージアム」、中国新聞、9月5日、17面
「情報交差点/ミュージアム」、中国新聞、9月12日、14面
「おでかけナビ/ミュージアム」、中国新聞(セレクト)、9月17日、10面
「情報交差点/ミュージアム」、中国新聞、9月19日、11面
「おでかけナビ/ミュージアム」、中国新聞(セレクト)、9月24日、10面

●定期行物(雑誌)

「全国展覧会スケジュール表」、美術の窓、3月号、181ページ
「全国展覧会スケジュール表」、美術の窓、4月号、181ページ
「全国展覧会スケジュール表」、美術の窓、5月号、215ページ
「全国展覧会スケジュール表」、美術の窓、6月号、167ページ
「STAGE & ART」、Wink広島、6月号、106ページ
「ART」、くれえばん、6月号、75ページ
「美術館便り」、岩本史緒、経済レポート、6月2日号、9ページ
「全国展覧会スケジュール表」、美術の窓、7月号、173ページ
「全国展覧会スケジュール表」、美術の窓、8月号、173ページ

「ART」、くれえばん、8月号、75ページ

「Schedule Museum」、ギャラリー、8月号、165ページ
「全国展覧会スケジュール表」、美術の窓、9月号、297ページ
「Schedule Museum」、ギャラリー、9月号、167ページ
「全国展覧会スケジュール表」、美術の窓、10月号、179ページ

●定期行物(その他)

「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、3月号、10ページ
「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、4月号、10ページ
「施設のイベント」、ひろしま市民と市政、5月1日号、6ページ
「お出かけ案内板」、リビングひろしま、5月29日号、7ページ
「文化財団からのお知らせ」「ひろしまカレンダー」「Mail Box」「特集」、文化情報マガジン to you、6月号、4・10・15ページ・裏表紙
「展示情報」、広響第402回定期演奏会プログラム、7月17日号、18ページ
「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、8月号、10ページ
「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、9月号、10ページ
「展示情報」、広響第399回定期演奏会プログラム、9月18日号、14ページ

出品目録

☆前期展示 2020年5月19日～7月26日 ★後期展示 2020年7月28日～9月27日

No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質 / 寸法 (cm)	備考
●コレクションハイライト					
1	須田悦弘 Yoshihiro Suda	チューリップ <i>Tulip</i>	2006	彩色・木 45.5×15.5×20.0	
2	逸藤利克 Toshikatsu Endo	ロータス II <i>Lotus II</i>	1989	木、鉄、水、タール 88.0(高さ)、450.0(直径)	
3	モンティエン・ブンマー Montien Boonma	心の寺院「自然の息吹」 <i>Temple of Mind "Nature Breath"</i>	1996	真鍮、鉄、葦草、ラテックス 364.0×249.0×241.0	
4	河口龍夫 Tatsuo Kawaguchi	関係—鉛の温室 HIROSHIMAのたんぽぽ <i>Relation- Lead Greenhouse Dandelions in Hiroshima</i>	1995	鉛、アルミニウム、ガラス、タンポポ、木に着色 265.0×270.0×357.5	
5	河口龍夫 Tatsuo Kawaguchi	関係—種子・夏の未来 <i>Relation- Seed/ Future of Summer</i>	1992	種子(スイカ)・鉛 170.0×320.0×5.0	
6	河口龍夫 Tatsuo Kawaguchi	little boy <i>little boy</i>	2018	印刷物 27.2×42.0	
7	李禹煥 Lee Ufan	関係項 <i>Relatum</i>	1969/1988	鉄、綿 119.0×130.0×151.0	
8	牛嶋均 Hitoshi Ushijima	人智の研究 ver. 5 ゲンバドーム <i>Nip ver.5 A-dome</i>	2008	スチールパイプ、他 303.0×445.0×236.0	
●特集1 大地					
9	鯉江良二 Ryoji Koie	証言(大地) <i>Testimonies (The Ground)</i>	1996	アルミニウム、石、陶片、ガラス、基板、炭、 粉塵、雜草、他 9.0—22.0×106.0—159.0×95.0—146.0	10点組
10	河鐘賢(ハ・ジョンヒョン) Ha Chong-hyun	接合-87「蘇る大地—広島に」 <i>Conjunction-87 "To the Revived Earth of Hiroshima"</i>	1987	油彩・キャンバス 220.1×120.5(左) 220.1×120.1(中) 220.1×120.2(右)	
11	宮崎進 Shin Miyazaki	「ヒロシマ」LAND <i>Hiroshima, Land</i>	2006	麻布、油彩・板 231.0×292.0	
12	宮崎進 Shin Miyazaki	「ヒロシマ」この大地の上で <i>Hiroshima, On this Earth</i>	2006	麻布、油彩・板 156.0×120.9	
13	宮崎進 Shin Miyazaki	「ヒロシマ」VOICE <i>Hiroshima, Voice</i>	2006	麻布、油彩・板 234.0×234.0	
14	小嶋悠司 Yuji Kojima	生—希求 <i>1944-Life-Desire</i>	1996	岩絵の具、でらランプ・キャンバス 184.0×300.0	
15	三上誠 Makoto Mikami	冥 <i>Mei -Hades-</i>	1959	縄、金属、石膏他、着色紙 91.8×136.7	
16	佐藤敬 Kei Sato	沖積世 <i>Holocene</i>	1959	油彩・キャンバス 146.4×114.4	
☆17	中林忠良 Tadayoshi Nakabayashi	転位'88—地—ヒロシマ <i>Transposition '88-Ground-Hiroshima</i>	1988	エッチング、アクアチント・紙 62.0×25.4(左) 62.0×52.4(右)	2点組
18	下村良之介 Ryonosuke Shimomura	黒い雨 <i>Black Rain</i>	1996	顔料、和紙、紙粘土・パネル 136.5×182.5	
☆19	浜口隴三 Yozo Hamaguchi	野 <i>A Bit of Field</i>	1985	メゾチント・紙 23.2×54.4	
☆20	池田龍雄 Tatsuo Ikeda	ぼた山 <i>Huge Coal- Waste Head</i>	1954	インク、水彩、コンテ・紙 29.2×37.6	
☆21	ロイ・リキテンシュタイン Roy Richtenstein	種まく人 <i>The Sower</i>	1985	リトグラフ、シルクスクリーン、木版・紙 97.2×133.2	
★22	浜田知明 Chimei Hamada	初年兵哀歌(山をゆく砲兵隊) <i>Elegy for a New Conscript (Artilley Soldiers Marching Through the Mountain)</i>	1953	エッチング、アクアチント・紙 23.6×16.4	
★23	浜田知明 Chimei Hamada	初年兵哀歌(陣地) <i>Elegy for a New Conscript (Encampment)</i>	1953	エッチング、アクアチント・紙 19.4×15.0	
★24	浜田知明 Chimei Hamada	黄土地帯 B <i>Yellow Soil Territory B</i>	1954	エッチング、アクアチント・紙 11.1×19.2	
25	ボイル・ファミリー Boyle Family	ヒロシマ・ディptych <i>Hiroshima Diptych</i>	1987-88	彩色・ファイバーグラス 183.0×182.0×22.0(左) 183.0×184.0×26.8(右)	2点組
26	マーク・ボイル Mark Boyle	ローリーパーク <i>Lorry Park</i>	1974-75	ポリエステル、土、金属、木、レンガ 182.8×182.8	

出品目録

No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質 / 寸法 (cm)	備考
27	甲斐雅之 Masayuki Kai	土に埋める77番 8月6日ヒロシマから地球平和の祈り <i>Bury No. 77: August 6th Prayer for World Peace from Hiroshima</i>	1995	土、糸・キャンバス 194.6×259.0	
28	甲斐雅之 Masayuki Kai	土に埋める37番 <i>Bury No. 37</i>	1991	土、糸・キャンバス 236.5×1260.0	
29	甲斐雅之 Masayuki Kai	土に埋める40番 ヴィンセント・ヴァン・ゴッホのために、5月から8月の間、オーヴェル・シュール・オワーズの地に埋める <i>Bury No. 40: Auvers-sur Oise, May-Aug. for Vincent Van Gogh</i>	1990	土、糸・キャンバス 161.5×129.5	
30	村上善男 Yoshio Murakami	廣嶋國泰寺町に雪降らせて(赤) 廣嶋國泰寺町に雪降らせて(白) <i>I Bless It Will Snow in Kokutaji-cho, Hiroshima (Red)</i> <i>I Bless It Will Snow in Kokutaji-cho, Hiroshima (White)</i>	1988	油彩、墨、紙、布・キャンバス 227.5×182.0 227.5×181.8	2点組
31	村上善男 Yoshio Murakami	鯉ヶ澤街道十面沢に十丁杭 <i>Ten stakes in Ajigasawa Kaiko Totsurazawa</i>	1987	墨、アクリル、和紙、ひも、木、合成樹脂・キャンバス 227.0×182.0	
32	村上善男 Yoshio Murakami	鯉ヶ澤街道赤倉園 <i>Ajigasawa Kaiko Akakuraken</i>	1987	墨、アクリル、和紙、ひも、木・キャンバス 227.0×182.0	
33	村上善男 Yoshio Murakami	鯉ヶ澤湾上独双六 <i>Parcheesi by Oneself on Ajigasawa Bay</i>	1986	アクリル、和紙、布・キャンバス 227.4×182.4	
34	村上善男 Yoshio Murakami	頻度n <i>Frequency n</i>	1953	注射針・板 111.8×145.4(左) 111.9×145.3(右)	2点組
35	村上善男 Yoshio Murakami	頻度n 129 <i>Frequency n 129</i>	1962	注射針他・板 130.2×130.4	
36	たべけんぞう Kenzo Tabe	リバース・フィールド 96 E-1 <i>REBIRTH FIELD96 E-1</i>	1996	鉄、ステンレススチール、真鍮、アルミニウム、 モーター、イルミネーション 60.0×250.5×250.5	
37	高橋秀 Shu Takahashi	地—黒— <i>Ground-Black-</i>	1963	油彩、厚紙・キャンバス 130.9×162.4	
38	田中稔之 Toshiyuki Tanaka	地の鼓動 <i>Beat of the Earth</i>	1988	油彩・キャンバス 259.3×194.4	
●特集2 宿命の芸術					
38	草間彌生 Yayoi Kusama	永劫回帰 <i>The Return to Eternity</i>	1988-91	ミクストメディア 30.0~90.0×30.0~54.0×30.0~54.0	
39	草間彌生 Yayoi Kusama	よみがえる魂 <i>Revived Soul</i>	1995	アクリル・キャンバス 194.0×391.5	
40	草間彌生 Yayoi Kusama	とらわれたダニー・ラルー <i>Danny La Rue (Caged)</i>	1970	彩色された金網、油彩・キャンバス 128.9×98.9	
41	草間彌生 Yayoi Kusama	ザ・マン <i>The Man</i>	1963	ミクストメディア 134.5×83.5×43.5	
42	草間彌生 Yayoi Kusama	自殺の儀式 <i>Ceremony for Suicide</i>	1975-76	ミクストメディア 210.0×420.0×250.0	
43	草間彌生 Yayoi Kusama	私の犬のリンリン <i>My Doggie Ring-Ring</i>	2009	携帯電話台座 20.0×27.0×8.0	
44	草間彌生 Yayoi Kusama	ドツ・オブセッション、水玉で幸福いっぱい <i>Dots Obsession, Full Happiness with Dots</i>	2009	携帯電話、ケース、レンズ、鏡 14.5×14.0×14.5	
45	草間彌生 Yayoi Kusama	宇宙へ行くときのハンドバッグ <i>Hand Bag for Space Travel</i>	2009	携帯電話、ストラップ 5.5×10.8×2.0	
☆46	棟方志功 Shiko Munakata	不動尊の欄 <i>Acala</i>	1941	木版・紙 156.5×52.5	
☆47	吉田克朗 Katurō Yoshida	触「広島」 <i>Touch "Hiroshima"</i>	1995-96	アクリル、油彩、黒鉛・キャンバス 181.0×226.5	
☆48	殿敷侃 Tadashi Tonoshiki	数字(赤) <i>Numerals (Red)</i>	1984	ゴムスタンプ・紙 162.2×130.2	
☆49	殿敷侃 Tadashi Tonoshiki	線の集積 <i>Accumulation of Lines</i>	C.1982	ボールペン・紙 200.2×112.5	
☆50	殿敷侃 Tadashi Tonoshiki	線の集積 <i>Accumulation of Lines</i>	1984	鉛筆・紙 200.0×110.0	
☆51	殿敷侃 Tadashi Tonoshiki	不明(鳥居など) <i>Unknown (Torii, Other)</i>	1972	インク・紙 7.5×21.0	
☆52	殿敷侃 Tadashi Tonoshiki	不明(きのこ雲) <i>Unknown (Mushroom Cloud)</i>	1972	インク・紙 16.0×14.0	
☆53	殿敷侃 Tadashi Tonoshiki	貝(2) <i>Shell (2)</i>	1978	エッチング・紙 7.7×9.8	

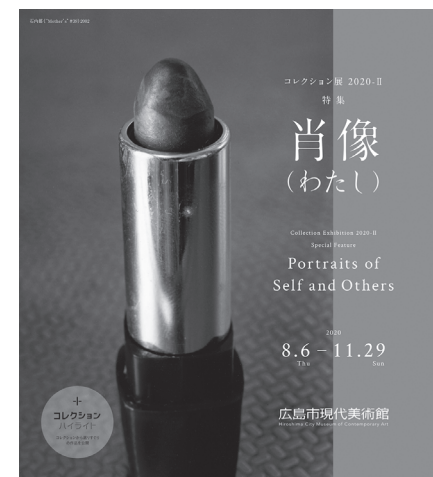
出品目録

No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質 / 寸法 (cm)	備考
☆54	殿敷侃 Tadashi Tonoshiki	貝(3) Shell (3)	1978	エッチング・紙 7.6×9.5	
☆55	殿敷侃 Tadashi Tonoshiki	貝(4) Shell (4)	1978	エッチング・紙 9.8×9.8	
☆56	殿敷侃 Tadashi Tonoshiki	カニ Crab	1978	エッチング、アクアチント・紙 12.3×16.0	
☆57	殿敷侃 Tadashi Tonoshiki	ドームのレンガ(1) Brick From the Dome (1)	1977	エッチング・雁皮紙 23.2×32.3	
☆58	殿敷侃 Tadashi Tonoshiki	ユキノシタ(仮称) Under Snow (Provisional Title)	1978	エッチング、アクアチント・紙 27.6×19.2	
☆59	殿敷侃 Tadashi Tonoshiki	シダ(仮称) Fern (Provisional Title)	C.1978	エッチング・雁皮紙 24.7×27.8	
☆60	殿敷侃 Tadashi Tonoshiki	シダ Fern	C.1978	エッチング、アクアチント・紙 24.4×28.0	
61	殿敷侃 Tadashi Tonoshiki	釋寛量信士(鉄かぶと) Shakukanyoshinshi (Iron Helmet)	1977	油彩・キャンバス 53.0×41.0	
62	殿敷侃 Tadashi Tonoshiki	釋妙昭信女(ボン) Shakumyoshoshin-nyo (Hat)	1978	油彩・キャンバス 45.5×53.0	
63	殿敷侃 Tadashi Tonoshiki	釋寛量信士(父のつめ) Shakukanyoshinshi (Father's Nail)	1978	油彩・キャンバス 24.0×33.5	
64	殿敷侃 Tadashi Tonoshiki	自画像の風景 Self-Portrait with Landscape	1975	油彩・キャンバス 116.3×91.0	
☆65	殿敷侃 Tadashi Tonoshiki	霊地 Landscape of a Life Deceased	C.1980-81	シルクスクリーン・紙 79.0×109.0	
☆66	殿敷侃 Tadashi Tonoshiki	霊地 (B) 3-1 Landscape of a Life Deceased (B) 3-1	1981	シルクスクリーン・紙 39.6×56.1	

コレクション展 2020-II

コレクション・ハイライト＋特集「肖像(わたし)」

Collection Highlights & Special Feature: Portraits of Self and Others



実施会期 2020年8月6日(木)～11月29日(日)
当初予定 2020年5月16日(土)～6月21日(日)
会場 展示室A-1～4
入場者数 7,211人

開催趣旨 特集「肖像(わたし)」では、現代美術における肖像表現を取り上げた。特定の人物の姿をあらゆる肖像作品は古代より世界各地で制作され、時代とともに肖像を通して投げかけられる問題意識も多様化してきた。ここでは、多彩なメディアと素材で表現される1960年代以降の肖像作品を様々な視点で見直すことで、現代を生きる私たちが直面するアイデンティティの曖昧さと不確実な「わたし」を考察した。後半の「コレクション・ハイライト」では、収集の柱のひとつである「ヒロシマと現代美術の関連を示す作品」を紹介し、ヒロシマの惨禍と復興の軌跡、平和への希求といったテーマがどのように美術作品にあらわれてきたかを概観した。被爆75周年という節目の年に、ヒロシマを起点として平和を問い直すことを試みた。

関連記事

●新聞

「おでかけナビ／ミュージアム」、中国新聞(セレクト)、8月27日、10面
「おでかけナビ／ミュージアム」、中国新聞(セレクト)、9月3日、10面
「おでかけナビ／ミュージアム」、中国新聞(セレクト)、9月17日、10面
「おでかけナビ／ミュージアム」、中国新聞(セレクト)、9月24日、10面
「情報交差点／ミュージアム」、中国新聞、9月26日、16面
「おでかけナビ／ミュージアム」、中国新聞(セレクト)、10月1日、10面
「情報交差点／ミュージアム」、中国新聞、10月3日、15面
「情報交差点／ミュージアム」、中国新聞、10月10日、14面
「ミュージアムで会いましょう」、中国新聞、10月11日、7面
「おでかけナビ／ミュージアム」、中国新聞(セレクト)、10月15日、10面
「情報交差点／ミュージアム」、中国新聞、10月17日、12面
「おでかけナビ／ミュージアム」、中国新聞(セレクト)、10月22日、10面
「情報交差点／ミュージアム」、中国新聞、10月24日、12面
「おでかけナビ／ミュージアム」、中国新聞(セレクト)、10月29日、10面
「情報交差点／ミュージアム」、中国新聞、10月31日、19面
「情報交差点／ミュージアム」、中国新聞、11月7日、14面
「おでかけナビ／ミュージアム」、中国新聞(セレクト)、11月12日、10面
「情報交差点／ミュージアム」、中国新聞、11月14日、12面
「情報交差点／ミュージアム」、中国新聞、11月21日、15面
「おでかけナビ／ミュージアム」、中国新聞(セレクト)、11月26日、10面
「情報交差点／ミュージアム」、中国新聞、11月28日、15面
「長期休館 生み出す魅力」、東郷隆、中国新聞、12月9日、21面

●定期刊行物(雑誌)

「全国展覧会スケジュール表」、美術の窓、5月号、215ページ
「美術館便り」、岩本史緒、経済レポート、7月28日号、9ページ

「エリア別ガイド」、別冊旅の手帖 せとうち広島、秋号、78ページ
「話題の展覧会 美術館」「全国展覧会スケジュール表」、美術の窓、9月号、281・297ページ
「9月のエンタメnavi」、タウン情報ひろしま、9月号、70ページ
「ART」、くれえばん、9月号、67ページ
「今月の展覧会」、MOE、10月号、55ページ
「全国展覧会スケジュール表」、美術の窓、10月号、179ページ
「ART」、Wink広島、10月号、111ページ
「Schedule Museum」、ギャラリー、10月号、167ページ
「Preview & News」、美術屋百兵衛、10月号、213ページ
「Art」、InRed、11月号、87ページ
「全国展覧会スケジュール表」、美術の窓、11月号、199ページ
「Schedule Museum」、ギャラリー、11月号、167ページ
「加盟館展覧会案内」、美連協ニュース、11月号、16ページ
「全国展覧会スケジュール表」、美術の窓、12月号、175ページ
「全国展覧会スケジュール表」、美術の窓、1月号、265ページ

●定期刊行物(その他)

「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、5月号、10ページ
「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、8月号、10ページ
「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、9月号、10ページ
「今月の表紙」、広響第399回定期演奏会プログラム、9月18日号、表紙・14ページ
「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、10月号、10ページ
「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、11月号、10ページ
「美術館・博物館 催し案内」、和風、秋号、77ページ
「びーすくろでめぐるアート」、マチナカより、秋号、18・19ページ

出品目録

☆前期展示:8月6日~10月4日 ★後期展示:10月6日~11月29日

No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質 / 寸法 (cm)	備考
●特集:肖像(わたし)					
1	福田繁雄 Shigeo Fukuda	ミロのヴィナス ポートレートシリーズ ゴッホ Venus of Milo, Portrait Series Venus of Gogh	1984	彩色・FRP、硬化プラスチック 60.0×29.0×31.5	
2	舟越桂 Katsura Funakoshi	言葉の降る森 Words Falling on Wood	1989	彩色・木、大理石 88.0×66.5×26.0	
☆3	池田満寿夫 Masuo Ikeda	ブタベストからの自画像 Self Portrait from Budapest	1968	リトグラフ紙 57.4×46.0	
☆4	池田満寿夫 Masuo Ikeda	Tの肖像 Portrait of T	1961	ドライポイント、ルーレット、カラージュ・紙 21.6×21.3	
☆5	池田満寿夫 Masuo Ikeda	私自身のアメリカ 3 マダム ダヴィンチの肖像 My Own America 3 Portrait of Mrs.da Vinci	1974	メジネット紙 17.7×19.7	
☆6	池田満寿夫 Masuo Ikeda	マグリット夫人の涙 Tears of Mrs.Magritt	1973	メジネット紙 18.1×14.1	
★7	駒井哲郎 Tetsuo Komai	R婦人の肖像(ヴァリアント) Portrait of Mrs.R	1970	アquareチント、エッチング紙 117.5×14.5	
★8	池田満寿夫 Masuo Ikeda	私をみつめる私 Me Staring at Myself	1964	ドライポイント、ルーレット紙 20.0×17.8	
★9	池田満寿夫 Masuo Ikeda	自画像 Self portrait	1964	ドライポイント紙 17.7×19.7	
★10	池田満寿夫 Masuo Ikeda	女の肖像 Portrait of a Woman	1974	メジネット紙 23.1×19.6	
11	ドゥエン・ハンソン Duane Hanson	カーペットを掃除する女 Woman Cleaning Carpet	1971	ポリエステル、ファイバーグラス 155.0×155.0×155.0	
12	ジュリアン・シュナーベル Julian Schnabel	無題 Untitled	1987	油彩、陶・木 183.2×152.2	
13	チャック・クロース Chuck Close	ジョージア / フィンガーペインティング Georgia / Fingerpainting	1984	油彩・キャンバス 122.2×96.8	
14	アレックス・カツツ Alex Katz	12月 December	1979	油彩・キャンバス 335.8×274.8	
15	都築響一 Kyoichi Tsuzuki	広島太郎 Hiroshima Taro	2010	レーザープリント 225.0×159.0	
16	赤瀬川原平 Genpei Akasegawa	押収品—千円札パネル作品Ⅲ Impounded Object: One thousand Bills Panel III	1963	インク、ホルト・パネルに裏打ちされた紙 82.8×182.0	
17	赤瀬川原平 Genpei Akasegawa	模型千円札Ⅲ Model 1,000-Yen Notes III	1963	印刷物・薄茶クラフト紙 29.3×19.3	
18	ハイレッド・センター High Red Center	特報!通信衛星は何者に使われているか! Flash Report! Who Takes Advantage of Communication Satellites?		印刷物 17.4×25.4	
19	秋山祐徳太子 Yutokutaishi Akiyama	東京都知事選立候補ポスター Campaign Poster for an Election of the Governor of Tokyo Metropolis	1979	印刷紙 42.0×39.0	
20	秋山祐徳太子 Yutokutaishi Akiyama	東京都知事選立候補ポスター Campaign Poster for an Election of the Governor of Tokyo Metropolis	1979	印刷紙 40.0×30.0	
21	秋山祐徳太子 Yutokutaishi Akiyama	東京都知事選立候補ポスター Campaign Poster for an Election of the Governor of Tokyo Metropolis	1975	印刷紙 36.0×25.5	
22	アピチャポン・ウィーラセタクン Apichatpong Weerasethakul	TEEM TEEM	2007	カラー、サイレント Teem Nov.20.9'53", Teem Nov.21.22'38", Teem Nov.22. 27'31"	
☆23	森村泰昌 Yasumasa Morimura	肖像(双子) Portrait (Futago)	1988-90	カラー写真プリント、透明メディウム 240.0×343.0	
☆24	森村泰昌 Yasumasa Morimura	なにものかへのレクイエム(宙の夢 / アルベルト 1) A Requiem: Dream of Universe / ALBERT 1	2007	ゼラチンシルバープリント 120.0×96.0	
☆25	森村泰昌 Yasumasa Morimura	なにものかへのレクイエム(創造の劇場 / セルゲイ・エイゼン シュテインとしての私) A Requiem: Theater of Creativity / Self-portrait as Sergei Eisenstein	2010	ゼラチンシルバープリント 120.0×96.0	
★26	森村泰昌 Yasumasa Morimura	なにものかへのレクイエム(創造の劇場 / マルセル・デュシャン としての私(ジュリアン・ワッサー氏撮影のイメージに基づく)) A Requiem: Theater of Creativity / Self-portrait as Marcel Duchamp (Based on the photo by Julian Wasser)	2007	発色現像方式印画 150.0×187.5	
★27	森村泰昌 Yasumasa Morimura	なにものかへのレクイエム(宙の夢 / アルベルト 2) A Requiem: Dream of Universe / ALBERT 2	2007	ゼラチンシルバープリント 120.0×96.0	
★28	森村泰昌 Yasumasa Morimura	なにものかへのレクイエム(創造の劇場 / 手塚治虫としての私) A Requiem: Theater of Creativity / Self-portrait as Tezuka Osamu	2010	ゼラチンシルバープリント 120.0×90.0	

出品目録

No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質 / 寸法 (cm)	備考
☆29	鷹野隆大 Ryudai Takano	"IN MY ROOM"より(長い髪がピンクの服にかかっている) Long hair nesting on pink cloth, from "IN MY ROOM"	2002	タイプCプリント 130.0×105.0	国際交流基金寄託
☆30	鷹野隆大 Ryudai Takano	"IN MY ROOM"より(裸で黒ヒモの首飾りをつけている) Wearing a choker naked, from "IN MY ROOM"	2002	タイプCプリント 130.0×105.0	国際交流基金寄託
☆31	鷹野隆大 Ryudai Takano	"IN MY ROOM"より(模様の入った黒いストッキングをはいている) Wearing black stockings with patterns, from "IN MY ROOM"	2002	タイプCプリント 130.0×105.0	国際交流基金寄託
☆32	鷹野隆大 Ryudai Takano	"IN MY ROOM"より(水色のGパンをはいお尻を向けている) Wearing light blue jeans pants turning the butt, from "IN MY ROOM"	2002	タイプCプリント 130.0×105.0	国際交流基金寄託
★33	鷹野隆大 Ryudai Takano	"IN MY ROOM"より(デニム地のジャケットを着て首を少しかきあげている) Wearing a denim jacket head slightly tilted, from "IN MY ROOM"	2003	タイプCプリント 130.0×105.0	国際交流基金寄託
★34	鷹野隆大 Ryudai Takano	"IN MY ROOM"より(赤い革のベルトが床に垂れている) Red leather belt on the floor, from "IN MY ROOM"	2002	タイプCプリント 130.0×105.0	国際交流基金寄託
★35	鷹野隆大 Ryudai Takano	"IN MY ROOM"より(頭に日本手拭いを巻いている) Japanese cotton towel fasten around the head, from "IN MY ROOM"	2002	タイプCプリント 130.0×105.0	国際交流基金寄託
★36	鷹野隆大 Ryudai Takano	"IN MY ROOM"より(青いシャツを着て両手を腰に当てている) Wearing a blue shirt and hands on the hip, from "IN MY ROOM"	2002	タイプCプリント 130.0×105.0	国際交流基金寄託
★37	鷹野隆大 Ryudai Takano	"IN MY ROOM"より(白い靴下の足を交差させている) Crossed legs wearing white socks, from "IN MY ROOM"	2002	タイプCプリント 130.0×105.0	国際交流基金寄託
☆38	澤田知子 Tomoko Sawada	"OMIAI♡"より From "OMIAI♡"	2001	タイプCプリント 55.0×45.0	国際交流基金寄託
☆39	澤田知子 Tomoko Sawada	"OMIAI♡"より From "OMIAI♡"	2001	タイプCプリント 55.0×45.0	国際交流基金寄託
☆40	澤田知子 Tomoko Sawada	"OMIAI♡"より From "OMIAI♡"	2001	タイプCプリント 55.0×45.0	国際交流基金寄託
☆41	澤田知子 Tomoko Sawada	"OMIAI♡"より From "OMIAI♡"	2001	タイプCプリント 55.0×45.0	国際交流基金寄託
☆42	澤田知子 Tomoko Sawada	"cover"より From "cover"	2002	インクジェットプリント 91.0×230	国際交流基金寄託
★43	澤田知子 Tomoko Sawada	"OMIAI♡"より From "OMIAI♡"	2001	タイプCプリント 55.0×45.0	国際交流基金寄託
★44	澤田知子 Tomoko Sawada	"OMIAI♡"より From "OMIAI♡"	2001	タイプCプリント 55.0×45.0	国際交流基金寄託
★45	澤田知子 Tomoko Sawada	"OMIAI♡"より From "OMIAI♡"	2001	タイプCプリント 55.0×45.0	国際交流基金寄託
★46	澤田知子 Tomoko Sawada	"cover"より From "cover"	2002	インクジェットプリント 90.0×215.0	国際交流基金寄託
☆47	シンディ・シャーマン Cindy Sherman	無題 #123 Untitled #123	1983	カラー写真プリント 163.8×112.4	
★48	シンディ・シャーマン Cindy Sherman	無題 #118 Untitled #118	1983	カラー写真プリント 87.5×59.0	
☆49	アンディ・ウォーホル Andy Warhol	マリリン 1 Marilyn 1	1967	シルクスクリーン紙 91.0×91.5	
☆50	アンディ・ウォーホル Andy Warhol	マリリン 2 Marilyn 2	1967	シルクスクリーン紙 91.0×91.6	
☆51	アンディ・ウォーホル Andy Warhol	マリリン 3 Marilyn 3	1967	シルクスクリーン紙 91.8×91.5	
☆52	アンディ・ウォーホル Andy Warhol	マリリン 4 Marilyn 4	1967	シルクスクリーン紙 91.1×91.6	
☆53	アンディ・ウォーホル Andy Warhol	マリリン 5 Marilyn 5	1967	シルクスクリーン紙 91.7×91.0	
★54	アンディ・ウォーホル Andy Warhol	マリリン 6 Marilyn 6	1967	シルクスクリーン紙 91.6×91.0	
★55	アンディ・ウォーホル Andy Warhol	マリリン 7 Marilyn 7	1967	シルクスクリーン紙 90.8×89.6	
★56	アンディ・ウォーホル Andy Warhol	マリリン 8 Marilyn 8	1967	シルクスクリーン紙 91.2×91.1	
★57	アンディ・ウォーホル Andy Warhol	マリリン 9 Marilyn 9	1967	シルクスクリーン紙 91.0×91.6	
★58	アンディ・ウォーホル Andy Warhol	マリリン 10 Marilyn 10	1967	シルクスクリーン紙 91.0×91.6	
☆59	太田三郎 Saburo Ota	POST WAR 46-47 POST WAR 46-47	1994	コピー紙 28.5×15.0	

出品目録

No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質 / 寸法 (cm)	備考
☆60	太田三郎 Saburo Ota	POST WAR 46-47 POST WAR 46-47	1994	コピー紙 28.5×15.0	
☆61	太田三郎 Saburo Ota	POST WAR 46-47 POST WAR 46-47	1994	コピー紙 28.5×15.0	
★62	太田三郎 Saburo Ota	POST WAR 46-47 POST WAR 46-47	1994	コピー紙 28.5×15.0	
★63	太田三郎 Saburo Ota	POST WAR 46-47 POST WAR 46-47	1994	コピー紙 28.5×15.0	
★64	太田三郎 Saburo Ota	POST WAR 46-47 POST WAR 46-47	1994	コピー紙 28.5×15.0	
★65	太田三郎 Saburo Ota	POST WAR 46-47 POST WAR 46-47	1994	コピー紙 28.5×15.0	
66	諏訪敦 Atsushi Suwa	HARBIN 1945 WINTER HARBIN 1945 WINTER	2015-16	油彩・キャンバス、パネル 145.5×227.3	
☆67	石内都 Miyako Ishiuchi	"Mother's" #8 "Mother's" #8	2002	ゼラチンシルバープリントにアクリル加工 107.5×73.5	国際交流基金寄託
☆68	石内都 Miyako Ishiuchi	"Mother's" #39 "Mother's" #39	2002	ダイレクト・プリントにアクリル加工 107.5×73.5	国際交流基金寄託
☆69	石内都 Miyako Ishiuchi	"Mother's" #49 "Mother's" #49	2002	ゼラチンシルバープリントにアクリル加工 107.5×73.5	国際交流基金寄託
☆70	石内都 Miyako Ishiuchi	"25 MAR.1916, Mother's" #53 "25 MAR.1916, Mother's" #53	2002	ゼラチンシルバープリントにアクリル加工 107.5×73.5	国際交流基金寄託
★71	石内都 Miyako Ishiuchi	"Mother's" #14 "Mother's" #14	2002	ゼラチンシルバープリントにアクリル加工 107.5×73.5	国際交流基金寄託
★72	石内都 Miyako Ishiuchi	"Mother's" #15 "Mother's" #15	2002	ゼラチンシルバープリントにアクリル加工 107.5×73.5	国際交流基金寄託
★73	石内都 Miyako Ishiuchi	"25 MAR.1916, Mother's" #31 "25 MAR.1916, Mother's" #31	2002	ゼラチンシルバープリントにアクリル加工 107.5×73.5	国際交流基金寄託
★74	石内都 Miyako Ishiuchi	"Mother's" #33 "Mother's" #33	2002	ダイレクト・プリントにアクリル加工 107.5×73.5	国際交流基金寄託
☆75	デイヴィッド・ホックニー David Hockney	メトロポリタン・オペラ・ハウス 1982年12月14日、ニューヨーク The Metropolitan Opera House New York, 14 December 1982	1982	写真コラージュ 132.0×157.0	
★76	デイヴィッド・ホックニー David Hockney	菴安寺の枯山水を歩く 1983年2月、京都 Walking in the ZEN Garden at the Ryoanji Temple Kyoto, February 1983	1983	写真コラージュ 103.2×157.5	
77	河原温 On Kawara	アイ・ゴット・アップ I GOT UP	1971	ゴム印によるスタンプ、消印・絵葉書 10.5×15.0 (各)	
78	河原温 On Kawara	SEPT.8, 1984 Todayシリーズ(1966-2013)より SEPT.8, 1984 from Today series (1966-2013)	1984	アクリル・キャンバス 155×226	
79	大木裕之 Hiroyuki Oki	みつめつつゆみ(150921 Hiroshima MIX) Mitsumetsutsuyumi (150921 Hiroshima MIX)	2011-15	カラー、サウンド	
80	田中功起 Koki Tanaka	each and every each and every	2003	カラー、サウンド	
●コレクション・ハイライト					
81	ジム・ダイン Jim Dine	広島の時計—グリーンハム・コモン版画集 Hiroshima Clock—Greenham Common Portfolio	1984	エッチング・紙 27.9×21.3	
82	浜田知明 Chimei Hamada	ボタン The Button	1988	エッチング、アクアチント・紙 35.5×51.0	
83	浜田知明 Chimei Hamada	ボタン(A) The Button (A)	1988	エッチング、アクアチント・紙 35.4×42.6	
84	鎌嚙 AY-O	8:15AM 8:15AM	1988	ミクストメディア・キャンバス 169.0×141.4×19.0(左) 167.5×136.0×15.0(右)	
85	土屋公雄 Kimio Tsuchiya	記憶の現在 8:15a.m. August 6 Ever-present Memory 8:15a.m. August 6	2004	鉄、時計 226.0×248.0×350.0	
86	宇佐美圭司 Keiji Usami	キノコ雲の上で On Top of the Mushroom Cloud	1988	油彩・キャンバス 249.0×333.4	
87	松本晏 Akira Matsumoto	キノコ雲の下から From the Bottom of the Mushroom Cloud	1988	シルクスクリーン・紙 91.1×125.6	
88	アラン・グリーン Alan Green	ヒロシマのための灰色と赤 Grey and Red for Hiroshima	1986-87	油彩・キャンバス 250.0×161.3(左) 250.0×161.2(右)	

出品目録

No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質 / 寸法 (cm)	備考
89	殿敷侃 Tadashi Tonoshiki	ATOMIC BOMB ATOMIC BOMB	1981	シルクスクリーン・キャンバス 162.2×130.5	10点組
90	工藤哲巳 Tetsumi Kudo	ヒロシマわが愛 Hiroshima mon amour	1970-75	ミクストメディア(陶・樹脂に彩色) 14.0×23.7×23.7	
91	村上隆 Takashi Murakami	地球戦隊エコレンジャー Eco Eco Rangers Earth Force	2005	シルク、アクリル、箔・和紙、木 27.3×37.0	
92	尹亨根 Yun Hyong-Keun	アンバー 88-35 [黒い雨] UMBER'88-35 Black Rain	1988	油彩・キャンバス 194.0×290.2	
93	金光松美 Matsumi Kanemitsu	太田川に捧げる Homage to Ota River	1986-87	アクリル・キャンバス 198.5×152.3	
94	細江 英公 Eikoh Hosoe	[死の灰]シリーズ ヒロシマ Deadly Ashes: Hiroshima	1983/2008	インクジェットプリント 92.0×63.0	
95	細江 英公 Eikoh Hosoe	[死の灰]シリーズ ヒロシマ Deadly Ashes: Hiroshima	1983/2008	インクジェットプリント 63.0×92.0	
96	土田ヒロミ Hiromi Tsuchida	[ヒロシマ・モニュメント]シリーズ ドーム 1979 Hiroshima Monument: Dome 1979	1979/2008	写真(インクジェット・プリント) 120.0×150.0	
97	土田ヒロミ Hiromi Tsuchida	[ヒロシマ・モニュメント]シリーズ ドーム 1990 Hiroshima Monument: Dome 1990	1990/2008	写真(インクジェット・プリント) 120.0×150.0	
98	土田ヒロミ Hiromi Tsuchida	[ヒロシマ・モニュメント]シリーズ ドーム 2008 Hiroshima Monument: Dome 2008	2008	写真(インクジェット・プリント) 120.0×150.0	
99	山口勝弘 Katsuhiko Yamaguchi	太陽を撃つ Shooting the Sun	1988	TV、ビデオ、塗装・板 194.0×314.5×170.5	
100	若林奮 Isamu Wakabayashi	(DOME)関連模型 Model for DOME	1988		
101	若林奮 Isamu Wakabayashi	(DOME)関連資料 Related materials of DOME	1988		
102	アンジェ・レッチア Ange Leccia	アレンジメント I Arrangement I	1994-95	ビデオ、写真	
103	オノ・ヨーコ Yoko Ono	HAKO HAKO	1995	エナメルで彩色されたブロンズ、 ガラス、テキスト 10.0×17.5×11.0(立体) 34.0×34.0(テキスト)	
104	入野忠芳 Tadayoshi Irino	流形—ヒロシマ Flux-Hiroshima	1995	油彩・キャンバス 193.5×259.0	
105	入野忠芳 Tadayoshi Irino	精霊 08-2 Spirit 08-2	2008	油彩・キャンバス 130.0×96.5	
106	入野忠芳 Tadayoshi Irino	精霊 11-3 Spirit 11-3	2011	油彩・キャンバス 162.0×130.0	
107	アンソニー・グリーン Anthony Green	家族への蓮の葉を手に広島から帰るアンソニー Anthony Returning from Hiroshima with Lotus Leaves for his Family	1987	油彩・板 243.0×197.2	
108	大岩オスカル Oscar Oiwa	フラワー・ガーデン FLOWER GARDEN	2004	油彩・キャンバス 227.0×222.0	
109	大岩オスカル Oscar Oiwa	フラワー・ガーデン FLOWER GARDEN	2004	油彩・キャンバス 227.0×222.0	
110	大岩オスカル Oscar Oiwa	フラスター・ガーデン(センター) FLOWER GARDEN (CENTER)	2004	油彩・キャンバス 227.0×111.0	寄託
111	ヤノベケンジ Kenji Yanobe	アトムスーツ・プロジェクト・タンク・チェルノブイリ Atom Suit Project: Tanks, Chernobyl	1997	ライトボックス、カラー・トランスベアレンシー 120.0×120.0×21.0	
112	ヤノベケンジ Kenji Yanobe	アトムスーツ・プロジェクト・保育園 1・チェルノブイリ Atom Suit Project: Nursery School 1, Chernobyl	1997	ライトボックス、カラー・トランスベアレンシー 120.0×120.0×21.0	
113	ヤノベケンジ Kenji Yanobe	汚染されたアトムスーツ Contaminated Atom Suit	1997	鉛、鉄、ガイガーカウンター、プラス チック、ストロボライト、他 240.0×110.0×100.0	
114	インゴ・ギュンター Ingo Günther	ワールド・プロセッサー [核爆発] WORLD PROCESSOR "NUCLEAR EXPLOSION"	1996	地球儀、スタンド、ランプ、電気コード、他 146.0×30.0×30.0	
115	岡本太郎 Taro Okamoto	明日の神話 Myth of Tomorrow	1967	油彩・キャンバス 48.0×195.0	公益財団法人岡本太郎 記念現代芸術振興財団 寄託
116	キース・ヘリング Keith Haring	アルター・ピース Altar Piece	1990	ブロンズ、ホワイトゴールド箔緑青 152.0×205.0	
117	高嶺格 Tadasu Takamine	大東亜レインボー Rainbow of Greater East Asia	2006	毛織物 240.5×358.0	

出品目録

No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質 / 寸法 (cm)	備考
118	柳幸典 Yukinori Yanagi	アキツシマ50 I Akitsushima 50-I	2000	鋳鉄 302.0×141.0×26.0 260.0×115.0×8.0 232.0×117.0×11.0	
119	柳幸典 Yukinori Yanagi	ダイビング・ログ(アキツシマ) Diving Log (Akitsushima)	2000	鉛筆、インク、水彩・紙 29.4×41.8	12点組
120	モナ・ハトゥム Mona Hatoum	Projection (velvet) Projection (velvet)	2013	絹ビロード、軟鋼 97.0×160.0	

コレクション展 2020-Ⅲ

コレクション・ハイライト＋特集「〈原爆〉を見る」

開催中止

当初予定 2020年8月1日(土)～11月3日(日)

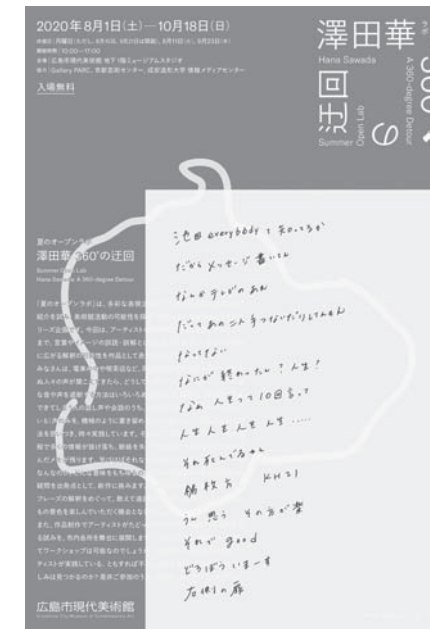
会場 展示室A-1～4

普及事業

Educational Programs

夏のオープンラボ 澤田華 360°の迂回

Summer Open Lab: Hana Sawada A 360-degree Detour



実施会期 2020年8月1日(土)～10月18日(日)
会場 ミュージアムスタジオ
観覧料 無料
主催 広島市現代美術館
協力 Gallery PARC、京都芸術センター、成安造形大学 情報メディアセンター
入場者数 3,173人

内容 多彩な表現活動をさまざまな方法で紹介し、美術館活動の可能性を探る、実験的な位置づけとしてのプログラム「夏のオープンラボ」にて、アーティストの澤田華を紹介した。
澤田は普段から、ふと耳に飛び込んできた人の話し声や会話のうち、はっきりと聞こえた声のみを、持ち歩いているノートに書き留めている。不毛にすら思えるこの行為の末に残された、いくつかの意味不明な言葉を素材に、新作《避雷針と顛末》を発表。元の文脈から切り離され、宙に浮いたようなフレーズの解釈をめぐり、一見無駄にも思える遠回りを敢えてしてみることによるのみ見えてくる、いくつかの奇妙な景色が楽しめる展示となった。
また、アーティストが新作制作の過程で辿った、プロセスの一端を観客と共有する試みとしてのワークショップを、市内各所の屋内外を舞台に展開した。新型コロナウイルスとともにある時代、果たしてこれまでのようなワークショップの開催は可能なかを検討し、実際に執り行うことで検証する、実験的な機会となった。

関連事業

- 8月1日(土) ワークショップ「波立つ心の迂回ルート」①広島駅編
会場:広島駅南口地下広場、講師:澤田華(21人)
- 9月12日(土) ワークショップ「波立つ心の迂回ルート」②金座街編
会場:福屋八丁堀本店9階屋上「八丁堀SORALA」、講師:澤田華(23人)
- 10月17日(土) ワークショップ「波立つ心の迂回ルート」③室内編
会場:広島市現代美術館B-1展示室、講師:澤田華(15人)

* ()内は参加者数

記録集 『ラボログ』

デジタル版:2020年12月公開 / 印刷版:2020年12月発行

関連記事

●新聞

「聞き流せない言葉を集め」、正木利和、産経新聞(夕刊)、8月28日、5面
「街角の声拾う 表現手法体験」、読売新聞、9月24日、29面
「時代のしるし 恋しき雑談」、木原由維、中国新聞、2021年5月28日、10面

「全国展覧会スケジュール表」、美術の窓、10月号、179ページ
「10月のエンタメnavi」、タウン情報ひろしま、10月号、76ページ
「ART」、Pen、10月1日号、120ページ

●定期刊行物(雑誌)

「全国展覧会スケジュール表」、美術の窓、8月号、173ページ
「ART」、山口県タウン情報トライアングル、8月号、55ページ
「離散型ワークショップ コロナ時代の可能性」、経済レポート、8月25日号、17ページ
「全国展覧会スケジュール表」、美術の窓、9月号、297ページ
「今月の展覧会」、ギャラリー、9月号、41ページ

●定期刊行物(その他)

「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、8月号、表紙・10ページ
「施設のイベント」、ひろしま市民と市政、8月1日号、6ページ
「お出かけ案内板」、リビングひろしま、8月28日号、10ページ
「おでかけガイド」、西広島タイムス、8月28日号、11ページ
「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、9月号、10ページ
「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、10月号、10ページ

出品目録

作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質
澤田華 Hana Sawada	避雷針と顛末 Lightning Rods and Circumstances	2020	インクジェット、レーザープリント、映像(26'55")、音声、モニター、モニタースタンド、アクリル板、木材、食料品、日用品、他

ビデオアートプログラムA

世界に開かれた映像という窓

Video Art Programs: A Window to the World



68

69



70

71

会 期 2020年5月8日(金)～12月11日(金)

当初予定 2020年5月8日(金)～11月3日(火)

会 場 ビデオコーナーおよびミュージアムスタジオ

観 覧 料 無料

主 催 広島市現代美術館

入場者数 11,994人

内 容 1階ビデオコーナーおよび地下1階ミュージアムスタジオにて、映像が映し出されるスクリーンを、距離的な隔たりを超えて世界で繰り広げられる試みと私たちの回路を開く「窓」にたとえ、世界で活躍するアーティストたちによる映像作品を紹介するシリーズ。社会性・時事性に富んだ現代的視点による、多様な表現方法を試みた映像作品を紹介した。

関連記事／第68回:ヴィクトル・ブリム

●定期刊行物(その他)
「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you, 4月号、10ページ

関連記事／第69回:アン・サンソク

●定期刊行物(その他)
「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you, 7月号、10ページ

関連記事／第70回:ローザ・ヌスバウム

●定期刊行物(その他)
「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you, 7月号、10ページ

関連記事／第71回:アンナ・ヴァゾフ

●定期刊行物(その他)
「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you, 8月号、10ページ
「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you, 10月号、10ページ
「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you, 11月号、10ページ

出品目録

回	上映期間	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	上映時間	場所
68	2020年2月26日(水)～2月28日(金) (当初予定:2020年2月26日～5月10日)	ヴィクトル・ブリム Viktor Brim	モノスケープ Monospace	2017	16'41"	ミュージアムスタジオ
	2020年10月24日(土)～12月11日(金)		オブジェクト・アンド・アーティファクト Objects and Artifacts	2019	16'05"	
69	2020年5月8日(金)～7月26日(日) (5月8日～5月18日まではオンライン上映)	アン・サンソク Ahn Sungseok	群衆の叡智 Wisdom of the Crowd	2018	8'26"	ビデオコーナー
70	2020年5月12日(火)～7月19日(日) (5月12日～5月18日まではオンライン上映)	ローザ・ヌスバウム Rosa Nussbaum	処女航海(ボートリン) Maiden Voyage (Boatlin)	2018	8'02"	ミュージアムスタジオ
71	2020年7月28日(火)～2020年11月3日(火)	アンナ・ヴァゾフ Anna Vasof	神聖なワイパー Holy Wiper	2016	1'01"	ビデオコーナー
			握手をよぶ0番 Call O for Handshake	2016	0'36"	
			知的な卓球 Intellectual Ping Pong	2017	0'36"	
			ハンマーでたたく Hammering	2017	0'54"	
			ポップコーン・フリースロー Popcorn Free Throws	2018	1'32"	
			緊張の瞬間 A Moment of Tension	2016	0'41"	
壁からちらりとぞく Peeks from behind the Wall	2018	0'47"				

出品目録

回	上映期間	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	上映時間	場所
71	2020年7月28日(火)～2020年11月3日(火)	アンナ・ヴァゾフ Anna Vasof	ファルファッラ・チェース Farfalla Chase	2018	0'32"	ビデオコーナー
			本当のセルフイー Honest Selfie	2019	0'19"	
			ヘルプ・マシーン Help Machine	2019	1'00"	
			宇宙の体重計 Space Scale	2019	0'18"	
			実存的な乱流 Existential Turbulences	2019	0'48"	
			自営業のほうき Self-employed Broom	2016	0'31"	

ビデオアートプログラムB

コレクション作品上映

Video Art Programs: Video Art Screening Program from the Collection

会 場 ビデオコーナー

入場者数 2,529人

観 覧 料 無料

内 容 1階ビデオコーナーにて、当館所蔵の映像作品を選び、紹介した。

主 催 広島市現代美術館

出品目録

回	上映期間	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	上映時間	場所
コレクション 1	2020年11月5日(木)～12月11日(金)	マックス・アルミー Max Almy	考える人 The Thinker	1989	7'42"	ビデオコーナー

オープン・プログラム

ツキイチ・ワークショップ



会場 パブリックスペース
参加費 広島市現代美術館
主催

内容 各回、身近な素材やテーマを設定し、参加者が自由に造形するワークショップ・シリーズ。造形を通して美術の楽しみを体験する機会を作り出すことを目的とし、原則的に毎月1回、美術館のパブリックスペースを使って開催する。
なお、本企画は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて開催を中止し、オンラインで楽しめる「おうちツキイチ・ワークショップ」の配信を実施した。

関連事業

●当初予定
4月19日(日)、5月17日(日) 「テーブルで壁をはりつくそう!」
6月21日(日)、7月19日(日) 「歯ブラシでペイント?!」

●オンラインによる動画配信
おうちツキイチ・ワークショップ2020
4月23日(木) Vol.1「シャカシャカ、こすってかたちをうつそう!台所バージョン」
4月30日(木) Vol.2「びゅん!ひっぱる糸はんが」
6月6日(土) Vol.3「ゴシゴシこすって かたちやもようをつくろう」
6月27日(土) Vol.4「やさいからいろをあつめよう」
7月23日(木) Vol.5「やさいでスタンプをつくろう!」
8月14日(金) Vol.6「キュキュ!おにくトレイではんがをつくろう」
9月19日(土) Vol.7「くるくるまくだけ、ペーパービーズ!」
10月29日(木) Vol.8「べたべた、チラシでコラージュしよう!」
11月28日(土) Vol.9「かんたん、チラシのあみもの!」
12月18日(土) Vol.10「チラシをつかってハガキをつくろう!」

●定期刊行物(その他)
「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、4月号、13ページ
「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、6月号、13ページ
「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、7月号、13ページ

関連記事

●新聞
「トピラのむこう」、八田智代、朝日新聞、4月30日、17面
「新型コロナウイルス感染症対策」、読売新聞、5月28日、26面

●定期刊行物(雑誌)
「Family Event Information」、マンベール、4月20日号、63ページ
「屋内おでかけスポット」、FunFANFun、夏号、87ページ
「読者限定プレゼント」「家族で楽しむおうち遊び」、こどもと学んで遊ぼう、冬号、9-33ページ

ゲンビ・リコレクション

GENBI Recollections

実施会期 2020年7月28日(火)~12月11日(金)
当初予定 2020年7月28日(火)~12月27日(日)
会場 エントランスホール、展示室
観覧料 無料
主催 広島市現代美術館
入場者数 22,732人

開催趣旨 広島市現代美術館は2020年12月28日から休館し、建設から30年余経った建物を全面改修する(リニューアルオープン)は2023年3月予定)。設計者である建築家・黒川紀章の思想と意匠を受け継ぎながら、美術館として必要な基本的機能の回復を図るとともに、一部デザインを変えたり、スペースを新設したりする。そこで、改修前の広島市現代美術館の姿を多くの市民の記憶に刻み込んでもらうために、「ゲンビ・リコレクション」(*リコレクション=記憶/思い出)とシリーズ名を銘打って、展示と関連ワークショップを行った。

ゲンビ・リコレクション 展示編

パート1:ありがとう、B展示室

Part 1: Thanks, Gallery B

会期 7月28日(火)~9月27日(日)
会場 展示室B-3
観覧者数 2,078人

内容 コレクション展を開催することの多いB展示室だが、もともとは企画展示室として設計され、開館当初から多くの企画展(特別展)が開催されてきた。パート1ではB展示室で開催された企画展のあゆみを紹介し、あわせてB展示室の特徴などを伝えた。

パート2: エントランスを忘れない

Part 2: Don't Forget the Entrance

実施会期 9月8日(火)~12月11日(金)
当初予定 9月8日(火)~12月27日(日)
会場 エントランスホール
観覧者数 10,440人

内容 開館当初のエントランスには、ビデオインフォメーションやビデオサインなど、時代を象徴する装置が随所に設置され、来館者を迎え入れていた。改修工事では美術館の多様な利用を促すためのスペースやカフェが新設される。パート2では、時代とともに変化するエントランスの様子を紹介した。

パート3:A展示室に拍手を

Part 3: Let's Have a Hand for Gallery A

実施会期 12月1日(火)~12月11日(金)
当初予定 12月1日(火)~12月27日(日)
会場 展示室A-1、2
観覧者数 2,751人

内容 展示室A-1は、もともとはエントランスの一部であり、展示ロビーとして開放されていたスペースを後に展示室へと変更したために、外光をふんだんに採り入れる仕様になっている。改修工事では窓をふさぎ、展示室としての機能を向上させる計画である。パート3では、展示室A-1からの眺めに注目した。

番外編:シャンデリアにもありがとう

Spin-off: Thanks too, Chandelier

実施会期 10月20日(火)~12月27日(日)
会場 展示室B-1
観覧者数 7,463人

内容 B展示室に入っすぐ、上を見上げれば巨大な照明器具が異彩を放っている。黒川紀章がデザインしたこの照明器具を、美術館スタッフは親しみと誇らしさを込めて「シャンデリア」と呼んできた。番外編では、改修工事後には昇降不可能となるその照明器具を床すれすれまで下げて、来場者に「ゲンビのシャンデリア」を鑑賞してもらった。

出品目録

回	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質 / 寸法
パート1	マグダレーナ・アバカノヴィッチ Magdalena Abakanowicz	《立つ人》 Standing Figure	1987	布、樹脂 171.2×40.5×30.0
パート2	ヘンリー・ムーア Henry Moore	《アトム・ピース》 Atom Piece	1964-65	ブロンズ 126.0×90.0×90.0
パート3	アルフレド・ジャール Alfredo Jaar	《われらの狂気を生き延びる道を教えよ(ヒロシマのために)》 Teach Us to Outglow Our Madness (for Hiroshima)	1995	ライトボックス、カラー・トランスパレンシー、鏡他 117.0×711.0×72.0

たてものフロッタージュ大作戦



会場 バブリックススペース
 観覧料 無料
 主催 広島市現代美術館
 参加者数 233人

概要 美術館のバブリックススペース(エントランスホール、ホワイエ、アプローチプラザ、彫刻の広場)を舞台に、フロッタージュの手法によって建物を再発見するワークショップのシリーズを実施した。目でじっくり観察してみたり、形や模様を写しとったりしながら、美術館の建物を楽しんだ。

プログラム

さがそう1

日時 8月22日(土)①10:30～、②13:30～、③15:30～(約1時間)
 対象 制限なし(小学3年生以下は保護者同伴)
 定員 各回15名
 参加者数 30人
 内容 美術館の床や壁、柱など、フロッタージュしたい部分を探し、紙に集まった形や模様から、「ゲンビ缶バッジ」をつくった。

あつめよう1

日時 10月25日(日)①10:30～、②13:00～、③15:30～(約1時間)
 対象 制限なし(小学3年生以下は保護者同伴)
 定員 各回15名
 参加者数 29人
 内容 美術館の床や壁、柱などをフロッタージュして、たくさんの形や模様を紙に写しとり、自分だけの「ゲンビ採集帳」をつくった。

さがそう2

日時 9月27日(日)①10:00～、②14:00～(約2時間)
 対象 小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)
 定員 各回15名
 参加者数 30人
 内容 建物ツアーの後、美術館の床や壁、柱など、フロッタージュしたい部分を探し、紙に集まった形や模様から、自分だけの「ゲンビ缶バッジ」をつくった。

あつめよう2

日時 11月22日(日)①10:00～、②14:00～(約2時間)
 対象 小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)
 定員 各回15名
 参加者数 34人
 内容 建物ツアーの後、美術館の床や壁、柱などをフロッタージュして、たくさんの形や模様を紙に写しとり、自分だけの「ゲンビ採集帳」をつくった。

のこそう 中止

日時 12月19日(土)・20日(日)①10:30～、②13:30～、③15:30～(約1時間)
 対象 制限なし(小学3年生以下は保護者同伴)
 定員 各回15名
 内容 展示室ツアーの後、彫刻の広場の柱や地面をこすって、リニューアル後に生まれ変わる場所の記憶を紙に記録する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、中止した。

関連記事

●新聞
 「改修前の美術館 写し取る」、読売新聞、10月6日、26面
 「情報交差点／ミュージアム」、中国新聞、12月5日、14面
 「情報交差点／ミュージアム」、中国新聞、12月12日、14面
 ●定期刊行物(雑誌)
 「11月のエンタ×navi」、タウン情報ひろしま、11月号、81ページ
 「全国展覧会スケジュール表」、美術の窓、12月号、175ページ
 「EVENT」、くれえばん、12月号、70ページ
 「全国展覧会スケジュール表」、美術の窓、1月号、265ページ

●定期刊行物(その他)
 「施設のイベント」、ひろしま市民と市政、8月1日号、6ページ
 「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、9月号、10ページ
 「Family Event Information」、ママンペール、9月5日号、55ページ
 「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、10月号、10ページ
 「施設のイベント」、ひろしま市民と市政、10月1日号、6ページ
 「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、11月号、10・13ページ
 「施設のイベント」、ひろしま市民と市政、11月1日号、6ページ
 「Family Event Information」、ママンペール、11月5日号、71ページ

美術館にワシの絵を!～千鳥スペシャル展示

会期 2020年8月1日(土)～16日(日) 内容 広島市現代美術館の広報の一環として、お笑いコンビ「千鳥」が臨時休館中の広島市現代美術館を訪れ、絵と粘土作品の制作を行い、その内容は4月4日のRCC「街頭TV出没!ひな壇団」にて放送された。その時の作品を公開することで、美術館のさらなる広報につなげるとともに、お笑いファンなど、新たな層の集客を図った。

みんなでカウントダウン

実施期間 2020年9月19日(土)～12月18日(日) 内容 広島市現代美術館の長期リニューアル休館に伴い、美術館を訪れる小中学生や地域の方々、これまで連携してきた企業などの協力の下、休館100日前からカウントダウンを行った。それぞれがつくった「カウントダウン数字」と一緒に撮影した写真をSNSなどで発信することで休館の周知を図るとともに、事業を通して美術館と地域の連携を深めた。

参加団体

9月19日 清和中学校ホームアート部(100日前)	11月8日 段原南地区3丁による「友の子」(50日前)
9月29日 広島インターナショナルスクール(90日前)	11月18日 基町プロジェクト(40日前)
10月9日 広島新庄中学校2年生(80日前)	11月28日 みみょう幼稚園(30日前)
10月19日 株式会社朝日コーヒーショップ、広島バス株式会社(70日前)	12月8日 宇品小学校わかば学級(20日前)
10月29日 CAMEL ART SCHOOL(60日前)	12月18日 広島市現代美術館職員(10日前)

小企画 コレクション・ハイライト

Open Program Collection Highlights



実施会期 2020年12月1日(火)～12月11日(金)

当初予定 2020年12月1日(火)～12月27日(日)

会場 展示室A-3～4

観覧料 無料

観覧者数 2,751人

内容 長期休館前にコレクションの一部を特別公開した。当館は、被爆都市・広島美術館として「ヒロシマと現代美術の関連を示す作品」を収集の柱のひとつとしてきたことから、この展示では、ヒロシマを起点に平和を問う作品を紹介し、ヒロシマの惨禍と復興の軌跡、平和への希求といったテーマがどのように美術作品にあらわれてきたかを概観した。

出品目録

回	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質 / 寸法 (cm)	備考
1	ジム・ダイン Jim Dine	広島の時計—グリーンハム・コモン版画集 Hiroshima Clock—Greenham Common Portfolio	1984	エッチング・紙 27.9×21.3	
2	浜田知明 Chimei Hamada	ボタン The Button	1988	エッチング、アクアチント・紙 35.5×51.0	
3	浜田知明 Chimei Hamada	ボタン(A) The Button (A)	1988	エッチング、アクアチント・紙 35.4×42.6	
4	鯨囀 AY-O	8:15AM 8:15AM	1988	ミクストメディア・キャンバス 169.0×141.4×19.0(左) 167.5×136.0×15.0(右)	
5	土屋公雄 Kimio Tsuchiya	記憶の現在 8:15a.m. August 6 Ever-present Memory 8:15a.m. August 6	2004	鉄、時計 226.0×248.0×350.0	
6	宇佐美圭司 Keiji Usami	キノコ雲の上で On Top of the Mushroom Cloud	1988	油彩・キャンバス 249.0×333.4	
7	松本晃 Akira Matsumoto	キノコ雲の下から From the Bottom of the Mushroom Cloud	1988	シルクスクリーン・紙 91.1×125.6	
8	アラン・グリーン Alan Green	ヒロシマのための灰色と赤 Grey and Red for Hiroshima	1986-87	油彩・キャンバス 250.0×161.3(左) 250.0×161.2(右)	
9	殿敷侃 Tadashi Tonoshiki	ATOMIC BOMB ATOMIC BOMB	1981	シルクスクリーン・キャンバス 162.2×130.5	10点組
10	工藤哲巳 Tetsumi Kudo	ヒロシマわが愛 Hiroshima mon amour	1970-75	ミクストメディア(陶・樹脂に彩色) 14.0×23.7×23.7	
11	村上隆 Takashi Murakami	地球戦隊エコレンジャー Eco Eco Rangers Earth Force	2005	シルク、アクリル、箔・和紙、木 27.3×37.0	
12	尹亨根 Yun Hyong-Keun	アンバー 88-35「黒い雨」 UMBER 88-35「Black Rain」	1988	油彩・キャンバス 194.0×290.2	
13	金光松美 Matsumi Kanemitsu	太田川に捧げる Homage to Ota River	1986-87	アクリル・キャンバス 198.5×152.3	

出品目録

回	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	素材・技法	備考
14	細江 英公 Eikoh Hosoe	「死の灰」シリーズ ヒロシマ Deadly Ashes: Hiroshima	1983/2008	インクジェットプリント 92.0×63.0	
15	細江 英公 Eikoh Hosoe	「死の灰」シリーズ ヒロシマ Deadly Ashes: Hiroshima	1983/2008	インクジェットプリント 63.0×92.0	
16	土田ヒロミ Hiromi Tsuchida	「ヒロシマ・モニュメント」シリーズ ドーム 1979 Hiroshima Monument: Dome 1979	1979/2008	写真(インクジェット・プリント) 120.0×150.0	
17	土田ヒロミ Hiromi Tsuchida	「ヒロシマ・モニュメント」シリーズ ドーム 1990 Hiroshima Monument: Dome 1990	1990/2008	写真(インクジェット・プリント) 120.0×150.0	
18	土田ヒロミ Hiromi Tsuchida	「ヒロシマ・モニュメント」シリーズ ドーム 2008 Hiroshima Monument: Dome 2008	2008	写真(インクジェット・プリント) 120.0×150.0	
19	山口勝弘 Katsuhiko Yamaguchi	太陽を撃つ Shooting the Sun	1988	TV、ビデオ、塗装・板 194.0×314.5×170.5	
20	若林奮 Isamu Wakabayashi	〈DOME〉関連模型 Model for DOME	1988		
21	若林奮 Isamu Wakabayashi	〈DOME〉関連資料 Related materials of DOME	1988		
22	アンジェ・レッチア Ange Leccia	アレンジメント I Arrangement I	1994-95	ビデオ、写真	
23	オノ・ヨーコ Yoko Ono	HAKO HAKO	1995	エナメルで彩色されたフロンズ、ガラス、テキスト 10×17.5×11(立体) 34×34(テキスト)	
24	入野忠芳 Tadayoshi Irino	流形—ヒロシマ Flux-Hiroshima	1995	油彩・キャンバス 193.5×259.0	
25	入野忠芳 Tadayoshi Irino	精霊 08-2 Spirit 08-2	2008	油彩・キャンバス 130.0×96.5	
26	入野忠芳 Tadayoshi Irino	精霊 11-3 Spirit 11-3	2011	油彩・キャンバス 162.0×130.0	
27	アンソニー・グリーン Anthony Green	家族への蓮の葉を手に広島から帰るアンソニー Anthony Returning from Hiroshima with Lotus Leaves for his Family	1987	油彩・板 243.0×197.2	
28	大岩オスカル Oscar Oiwa	フラワー・ガーデン FLOWER GARDEN	2004	油彩・キャンバス 227.0×222.0	
29	大岩オスカル Oscar Oiwa	フラワー・ガーデン FLOWER GARDEN	2004	油彩・キャンバス 227.0×222.0	
30	大岩オスカル Oscar Oiwa	フラワーズ・ガーデン(センター) FLOWER GARDEN (CENTER)	2004	油彩・キャンバス 227.0×111.0	寄託
31	ヤノベケンジ Kenji Yanobe	アトムスーツプロジェクト:タンク・チェルノブイリ Atom Suit Project: Tanks, Chernobyl	1997	ライトボックス、カラートランスベアレンシー 120.0×120.0×21.0	
32	ヤノベケンジ Kenji Yanobe	アトムスーツプロジェクト:保育園 1・チェルノブイリ Atom Suit Project: Nursery School 1, Chernobyl	1997	ライトボックス、カラートランスベアレンシー 120.0×120.0×21.0	
33	ヤノベケンジ Kenji Yanobe	汚染されたアトムスーツ Contaminated Atom Suit	1997	鉛、鉄、ガイガーカウンター、プラスチック、ストーブライト、他 240.0×110.0×100.0	
34	インゴ・ギュンター Ingo Günther	ワールド・プロセッサ―「核爆発」 WORLD PROCESSOR "NUCLEAR EXPLOSION"	1996	地球儀、スタンド、ランプ、電気コード、他 146.0×30.0×30.0	
35	岡本太郎 Taro Okamoto	明日の神話 Myth of Tomorrow	1967	油彩・キャンバス 48×195	公益財団法人岡本太郎記念現代芸術振興財団寄託
36	キース・ヘリング Keith Haring	アルター・ピース Altar Piece	1990	ブロンズ、ホワイトゴールド箔、緑青 152×205	
37	高嶺格 Tadasu Takamine	大東亜レインボー Rainbow of Greater East Asia	2006	毛織物 240.5×358.0	
38	柳幸典 Yukihori Yanagi	アキツシマ50 I Akitsushima 50-I	2000	鉄 302.0×141.0×26.0 260.0×115.0×8.0 232.0×117.0×11.0	
39	柳幸典 Yukihori Yanagi	ダイビング・ログ(アキツシマ) Diving Log (Akitsushima)	2000	鉛筆、インク、水彩・紙 29.4×41.8	12点組
40	モナ・ハトゥム Mona Hatoum	Projection (velvet) Projection (velvet)	2013	絹ビロード、軟鋼 97×160	

ゲンビ・休館前イベント「また会う日まで」

Open Program Hiroshima MOCA Closing Event “Until We See You Again”

実施期間	2020年12月5日(土)～12月11日(金) ※12月27日(日)にオンラインでのクロージング・イベントを開催	概要	リニューアル工事に伴い令和2年12月28日(月)より約2年間休館することから、休館前の一か月間、建物とコレクションに焦点をあてた様々なイベントを行うことで、来館者に現在の美術館との思い出をつくってもらうとともに、再開時への期待感を醸成することを目指した。
当初予定	2020年12月5日(土)～12月27日(日)		
会場	アプローチプラザ、エントランスホール、展示室、ミュージアムスタジオ、野外展示場等		
参加費	無料		

プログラム

全館無料開放

実施期間	12月5日(土)～12月11日(金)
当初予定	12月5日(土)～12月27日(日)
内容	「ヒロシマ」をテーマにしたコレクションの展示や「ゲンビ・コレクション」を無料で公開した。

ゲンビたてもの巡り

～ウォークラリーと撮影会

日時	12月5日(土) ①11:00～12:30 ②13:30～15:00
対象	小学3年生以上(小学生は保護者同伴)
定員	各回15名
講師	高田真(アーキウォーク広島 代表)
参加者数	47人
内容	建物の背景にある建築家の思いや設計コンセプトを知り、それがどのように具現化されているのか、実際に建物を見ながら歩き、ゲンビらしい場所や絵になるディテールなど、建物の魅力を写真に残した。

たてものを撮ろう、 たてものと撮ろう!

実施期間	12月5日(土)～12月11日(金)
当初予定	12月5日(土)～12月27日(日)
参加者数	100人
内容	幾何学的な形態の組み合わせが見られる建物のディテールや、空っぽの展示室、改修で形を変える場所など、休館前に撮影できるポイントを撮影できるようにした。

たてものフロッタージュ大作戦 また会う日まで編

実施期間	12月5日(土)～12月11日(金)
当初予定	12月5日(土)～12月27日(日)
参加者数	110人
内容	フロッタージュで建物を再発見するためのキットを配布した。参加者は美術館のパブリックスペースをめぐりながら、壁や床、柱などを、専用のポストカードにフロッタージュした。ポストカードを館内のポストに投函すると、リニューアル・オープンをお知らせする「カード」として、後日参加者の自宅に届く予定。

アートナビ・ツアー(日本語)

実施日時	12月5日(土)・6日(日) ①11:00～11:30 ②14:00～14:30
当初予定	12月5日(土)～12月27日(日)の土日
参加者数	38人
内容	アートナビゲーターによる、コレクション作品のギャラリートourを行った。

アートナビ・ツアー(英語)

実施日時	12月6日(日)13:00～13:30
当初予定	12月6日(日)、13日(日)
参加者数	5人
内容	美術館スタッフによる、コレクション作品のギャラリートour(英語)を行った。

オンライン・プログラム

おうちでクロージング

実施期間	12月27日(日)※オンライン	内容	臨時休館により、予定していたクロージング・イベントを実施できなかったため、オンラインでイベント配信を行った。
当初予定	12月26日(土)、27日(日)		
会場	広島市現代美術館からYouTube配信		
視聴者数	952人		

プログラム・スケジュール

10:30～11:30	西島大介ライブ・ペインティング
12:00～13:00	アートナビ・ツアー
14:00～14:30	スタジオ・プログラム「幕間のオンステージ」
15:00～17:00	休館演習:ヒスロムがいます(仮)
17:00～18:00	ゲンビの光

関連記事

●新聞
「2年間の休館 存在感どう保つ」、福田彩乃・西村文、中国新聞、11月6日、11面
「ゲンビ」長期休館」、宇城昇、毎日新聞、12月7日、22面
「活動PR役「無題」さん 作者の西島さん招きイベント」、小林可奈、中国新聞、12月28日、19面
「新たなゲンビ お楽しみに」、読売新聞、1月17日、32面

●定期刊行物(その他)
「施設のイベント」、ひろしま市民と市政、12月1日号、6ページ
「みんなの広場」「Mail Box」、文化情報マガジン to you、1月号、14・15ページ

美術館利用促進事業

受入期間 2020年9月19日(土)～12月11日(金) 目的 小・中学生を対象に送迎バス運行による鑑賞事業を実施することで、子どもたちに優れた美術作品の鑑賞機会を提供し、情操教育の向上に寄与するとともに現代美術ファン層の裾野を広げ、さらなる利用促進を図る。*学校の一部負担あり

バス運行台数 45台

対象 広島市内に住所を有する小・中学校及び特別支援学校(小学部・中学部)

参加校数/受入数

区分	広島市内		計	
	市立	国立・私立		
小学校	学校数	21校	0校	21校
	人数	1,447人	0人	1,447人
中学校	学校数	3校	0校	3校
	人数	124人	0人	124人
計				24校
				1,571人

(参考)小・中学校の団体利用実績総数

区分	広島市内			広島市外	計	
	市立	国立・私立				
小学校	学校数	23校	23校	0校	1校	24校
	人数	2,030人	2,030人	0人	37人	2,067人
中学校	学校数	5校	3校	2校	2校	7校
	人数	344人	124人	220人	109人	453人
計		28校	26校	2校	3校	31校
		2,374人	2,154人	220人	146人	2,520人

*人数は実数(児童・生徒・引率教師)

博物館実習

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、受け入れ中止とした。

館外活動

Activities
Outside the Museum

ゲンビどこでも企画×ゲンビ「広島ブランド」デザイン スペシャル公募2020

Open Call for Art Project Ideas and Design Ideas of "Hiroshima Brand" 2020



募集期間 2020年9月18日(金)～11月10日(火)
 展示会期 2021年2月20日(土)～3月7日(日)
 会場 旧日本銀行広島支店
 観覧料 無料
 主催 広島市現代美術館
 協賛 オタフクソース株式会社、オリエンタルホテル広島、広島アンデルセン
 入場者数 1,413人

内容 これまで当館で開催してきた2つの公募展を融合させ、アートとデザインの垣根を越えて作品を募集することを目的に、改修工事ともなう休館期間中の活動の一環として、会場となる旧日本銀行広島支店の空間的な特徴や歴史性を生かしたプランや、新たな機能やイメージを提案するアイデアなどを広く公募し、審査員によって選ばれた8作品を展示、一般公開した。

応募総数 178件
 一次審査 2020年11月11日(水)～14日(土)
 審査員:広島市現代美術館 学芸員
 二次審査 2020年11月18日(水)～11月28日(土)
 特別審査員:蔵屋美香(横浜美術館館長)、三分一博志(建築家)、中村政人(アーティスト、3331 Arts Chiyoda 統括ディレクター、東京藝術大学教授)、平野敬子(デザイナー、ビジョナー、コミュニケーションデザイン研究所所長)
 審査員:広島市現代美術館 館長、副館長、学芸担当課長

関連事業

オープニングイベント(オンライン配信)

2021年2月20日(土)14:00～ ゲスト:中村政人(●人)

* ()内は視聴者数

授賞式及び地元協賛企業の日のイベントは中止

関連記事

●新聞
 「旧日銀広島支店 魅力の空間に」、福田彩乃、中国新聞、9月12日、10面
 「情報交差点/展示」、中国新聞、2月20日、13面
 「歴史的空間 アート共鳴」、読売新聞、2月21日、25面
 「おでかけナビ/展示」、中国新聞(セレクト)、2月25日、10面
 「感熱紙アート 危機感喚起」、福田彩乃、中国新聞、2月26日、13面
 「折り鶴の折り 再生の苗」、宇城昇、毎日新聞、2月28日、22面

●定期刊行物(雑誌)
 「アート」、公募ガイド、10月号、85ページ
 「2月のエンタメnavi」、タウン情報ひろしま、2月号、82ページ
 ●定期刊行物(その他)
 「施設のイベント」、ひろしま市民と市政、9月1日号、6ページ
 「お知らせ&募集」、文化情報マガジン to you、10月号、5ページ

出品目録

賞	作家名 / Artist	作品名 / Title	展示場所
蔵屋美香賞	光岡幸一 Koichi Mitsuoka	詩のある風景とこれから <i>Poetic Landscape and the Future</i>	3階 フリースペース4
三分一博志賞・平野敬子賞	Kanae Otani Kanae Otani	いつかここではないどこかで <i>Somewhere, not here, someday</i>	1階 第二応接室、中庭
中村政人賞	沖野純・辻大海 Jun Okino and Takami Tsuji	PAPER BAND <i>PAPER BAND</i>	1階 ロビー、一般事務室
観客賞	生田海斗・川畑純 Kaito Ikuta and Jun Kawahata	ニチギン・ピースアター <i>Nichigin Peace Theater</i>	1階 第一応接室
	角文平 Bunpei Kado	Secret room <i>Secret room</i>	1階 面会室
	菊田真奈 Mana Kikuta	Senbazuru <i>Senbazuru</i>	1階 一般事務室
	諏訪葵 Aoi Suwa	仕切りを解かすための触媒 <i>Catalyst for Dissolving a Partition</i>	1階 ロビー
	寺岡波瑠 Haru Teraka	広島式オーダー <i>Hiroshima order</i>	1階 一般事務室

館外コレクション展 A 市内編「どこかで?ゲンビ」

The Hiroshima MOCA Collection at Various Venues A.
Hiroshima City "Dokokade? Genbi"

どこかで?ゲンビ 市役所編

Dokokade? Genbi: City Hall



実施会期 2021年3月8日(月)～3月19日(金)
 当初予定 2021年1月25日(月)～2月12日(金)
 会場 広島市役所(広島市中区国泰寺町1丁目6-34)1-4階
 観覧料 無料
 主催 広島市現代美術館、広島市役所
 入場者数 2,252人

内容 休館中に当館コレクション等を館外展示する「どこかで?ゲンビ」の一貫として実施。市役所編では、現代美術の魅力を親しみやすく伝えることを目的に、展示を行った。フィリップ・キングによる高さ173センチのブロンズ作品《ヒロシマのための記念碑》、平和記念公園・南側緑地帯に設置されている芥川永の代表作《教師と子どもの碑》の原型など、広島と関わり深い作品を紹介した。閉庁後には、日暮れと共に市役所外壁に加藤立による映像作品《I am a museum》を上映。作家自身が絵画作品を背負って美術館の外に出ることで、様々な場所で作品と観客の出会いが生まれる様子を記録したこの作品により、「どこかで?ゲンビ」の活動を象徴的に示した。

出品目録

No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質 / 寸法
1	フィリップ・キング Phillippe King	ヒロシマのための記念碑 <i>Monument for Hiroshima</i>	1987-1988	ブロンズ 176.0×114.0×68.5
2	秋山祐徳太子 Yutokutaishi Akiyama	私のバーミヤン <i>My Bamian Buddha</i>	2005	ブリキ 36.5×38.5×25.0
3	井上武吉 Bukichi Inoue	溢れるNo.1 <i>Full No.1</i>	1977	ブロンズ 28.0×39.0×37.5
4	粟津潔 Kiyoshi Awazu	HIROSHIMA APPEALS 1984 鳥たち <i>HIROSHIMA APPEALS 1984 "birds"</i>	1984	オフセット紙 103.0×72.8
5	田中一光 Ikko Tanaka	HIROSHIMA APPEALS 1988 一羽の白い鳩 <i>HIROSHIMA APPEALS 1988 "a white dove"</i>	1988	オフセット紙 103.0×72.8
6	飯田善國 Yoshikuni Iida	Hito <i>Human Figure</i>	1967	真鍮 75.1×34.3×32.0
7	芥川永 Hisashi Akutagawa	教師と子どもの碑原型 <i>Model for Monument for Teacher and Student</i>	1971	ブロンズ 45.0×21.0×17.0
8	加藤立 Ryu Kato	I am a museum <i>I am a museum</i>	2019	映像

どこかで?ゲンビ NHK de ミチカにアート

Dokokade? Genbi: NHK de Mijika ni Art



実施会期 2021年3月8日(月)～3月21日(日)
 当初予定 2021年2月1日(月)～2月14日(日)
 会場 NHK広島放送センタービル(広島市中区大手町2丁目11-10) 1階
 観覧料 無料
 主催 広島市現代美術館、NHK広島放送局
 入場者数 3,560人

内容 休館中に当館コレクション等を館外展示する「どこかで?ゲンビ」の一貫として実施。「NHK de ミチカにアート」では、岡本太郎の《明日の神話(1号原画)》に注目し、その造形的魅力と作品に託された想いを他作品と組み合わせながら紹介した。
 岡本太郎は、ブロンズ像《若い夢》と《坐ることを拒否する椅子》をあわせて展示しただけではなく、NHK広島放送局・NHK放送技術研究所による「バーチャル・明日の神話」(VR体験コーナー)も設置し、多角的に紹介。他にも三宅一生や殿敷侃など、広島出身の作家による作品、平和への願いが込められた作品を展示した。

出品目録

No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質 / 寸法
1	岡本太郎 Taro Okamoto	明日の神話(1号原画) <i>Myth of Tomorrow</i>	1967	油彩・キャンバス 48.0×195.0
2	岡本太郎 Taro Okamoto	若い夢 <i>Young Dream</i>	1974(1995铸造)	ブロンズ 180.0×200.0×180.0
3	岡本太郎 Taro Okamoto	坐ることを拒否する椅子 <i>Chair Refusing to be Sat on</i>	c.1963	陶 47.0×40.0×47.0(5個)
4	殿敷侃 Tadashi Tonoshiki	JUPITER <i>JUPITER</i>	c.1985	焼き固めたプラスチック類 118.0×95.0×67.0
5	三宅一生 Issei Miyake	Rhythm Pleats <i>Rhythm Pleats</i>	1989(1994再制作)	フリース加工・ポリエステル、リネン 122.0×92.0
6	三宅一生 Issei Miyake	Rhythm Pleats <i>Rhythm Pleats</i>	1989(1994再制作)	フリース加工・ポリエステル、リネン 98.5×86.0
7	西雅秋 Masaaki Nishi	Seven Cast Hiroshima 1995～ <i>Seven Cast Hiroshima 1995～</i>	1995	ブロンズ 15.3×30.1×60.5(7個)
8	亀倉雄策 Yusaku Kamekura	HIROSHIMA APPEALS 1983 燃え落ちる蝶 <i>HIROSHIMA APPEALS 1983 "butterflies burning out"</i>	1983	オフセット紙 103.0×72.8
9	早川良雄 Yoshio Hayakawa	HIROSHIMA APPEALS 1986 子供と鳩 <i>HIROSHIMA APPEALS 1986 "a child and a dove"</i>	1986	オフセット紙 103.0×72.8
10	ジョエル・ケーツ Joel Katz	国と国の戦いは二度とごめんだ <i>Nation against Nation, No More</i>	1985	オフセット紙 91.3×61.2
11	マルコム・グリア Malcolm Grear	地球 ゼロ <i>Earth Zero</i>	1985	オフセット紙 91.3×61.2

どこかで?ゲンビ 地域連携・学校編

Dokokade? Gnebi at School

会期 2021年3月～
 会場 市内小中高等学校
 観覧料 無料
 主催 広島市現代美術館

概要 休館中に当館コレクション等を館外展示する「どこかで?ゲンビ」の一貫として実施。地域連携・学校編では、当館コレクションを各学校において半年～約2年の間展示、活用してもらうことで、学校教育に資するとともに今後の美術館活動へとつなげていく。

内容

岡本敦生(《CRUST(地殻)―9》、《CRUST-cocoon 97-2》)
 2021年3月～2022年3月(予定) 広島市立段原小学校

フェルナンド・ボテロ(《小さな鳥》)

2021年3月～2023年3月(予定) 広島市立五日市南小学校

どこかで?ゲンビ 地域連携・ポスター編

Dokokade? Genbi: Poster Exhibition

会期 随時
 会場 市内飲食店や書籍店、衣料品店等
 観覧料 無料
 主催 広島市現代美術館

内容 休館中に当館コレクション等を館外展示する「どこかで?ゲンビ」の一貫として実施。地域連携・ポスター編では、広島市内の様々な店舗において、当館で開催した過去の展覧会ポスターを掲示するなど、当館と来店者との意外な出合いを演出しながら、地域との連携を深めていく。

関連記事

●新聞

「情報交差点 / 展示」、中国新聞、3月6日、20面
 「広島の「どこかで」アートに出会う」、福田彩乃、中国新聞、3月10日、12面
 「おでかけナビ / 展示」、中国新聞(セレクト)、3月11日、8面
 「現代美術 街中で鑑賞を」、余村泰樹、中国新聞、3月13日、25面
 「情報交差点 / 展示」、中国新聞、3月13日、19面
 「おでかけナビ / 展示」、中国新聞(セレクト)、3月18日、8面
 「現代アートを身近な存在に」、福田彩乃、中国新聞、5月24日、19面

●定期刊行物(その他)

「(公財)広島市文化財団主催 文化イベント」「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、1月号、4・10ページ
 「イベント」、読売新聞ひろしま県民情報、2月10日号、3ページ
 「ひろしまカレンダー」、文化情報マガジン to you、3月号、10ページ
 「施設のイベント」、ひろしま市民と市政、3月1日号、6ページ
 「Mail Box」、文化情報マガジン to you、7月号、15ページ

●定期刊行物(雑誌)

「WINK CHECK IT OUT」、Wink広島、2月号、23ページ
 「3月のエンタメnavi」、タウン情報ひろしま、3月号、73ページ
 「裏表紙」、Wink広島、3月号、裏表紙

●ウェブサイト

「広島市現代美術館に公式キャラクター 休館中の活動PRで」、広島経済新聞、2月10日

館外コレクション展 B 市外編

The Hiroshima MOCA Collection at Various Venues B.
Okawa Museum of Art

広島市現代美術館所蔵作品を中心に Part 1 靄光と同時代の仲間たち

Works from Hiroshima MOCA and More
Part1. Ai-Mitsu and His Contemporaries

会 期	2020年10月10日(土)～12月13日(日)	内 容	新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となった当館の特別展「無幸の絵画 靄光、峻介と戦時期の画家」の開催にあたり、松本俊介の代表作をはじめ、コレクションの出品と、作家に関する調査で協力を得た大川美術館との共催により、当館の所蔵作品を中心に構成した展覧会を開催した。Part 1では、靄光と、同時代の作家の作品を、1930年代後半から1950年代初頭までの作品約50点を紹介し、戦時を生きた画家たちがいかにモノを見つめ描くことを続けたかを再考した。
会 場	大川美術館(群馬県桐生市小曾根町3-69)		
主 催	公益財団法人大川美術館、広島市現代美術館		
後 援	群馬県教育委員会、桐生市教育委員会、上毛新聞社、桐生タイムス社、光ネット株式会社、FM桐生		
助 成	公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団		
入 館 料	一般1,000円、高大生600円、小中生300円		

	カタログ	『広島市現代美術館所蔵作品を中心に Part 1 靄光と同時代の仲間たち Part 2 70年目の原爆の図』 発行:大川美術館 / 発行年:2020年 / 総頁数:104頁
--	------	---

※当館所蔵の出品作品の詳細については、作品貸し出し記録を参照のこと。

広島市現代美術館所蔵作品を中心に Part 2 70年目の原爆の図

Works from Hiroshima MOCA and More
Part 2. The Seventieth Anniversary of the Hiroshima Panels

会 期	2021年1月16日(土)～3月14日(日)	内 容	Part 2では、丸木位里と丸木俊によって共同制作された《原爆の図》(再制作版)が桐生市で展示されてから70年となる節目に、現在当館の所蔵となった《原爆の図》三部作(再制作版)の中から《原爆の図 第1部 幽霊》と、原爆の図丸木美術館が所蔵する《原爆の図テッサン》を展示し、戦後まもない時代に全国を巡回した「原爆の図三部作展覧会」について再検証するとともに、70年目に桐生で「原爆の図」を見ることの意味について考察した。
会 場	大川美術館(群馬県桐生市小曾根町3-69)		
主 催	公益財団法人大川美術館、広島市現代美術館		
特別協力	原爆の図丸木美術館		
協 賛	公益社団法人桐生法人会		
後 援	群馬県教育委員会、桐生市教育員会、上毛新聞社、桐生タイムス社、光ネット株式会社、FM桐生		
助 成	公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団		
入 館 料	一般1,000円、高大生600円、小中生300円		

	カタログ	『広島市現代美術館所蔵作品を中心に Part 1 靄光と同時代の仲間たち Part 2 70年目の原爆の図』 発行:大川美術館 / 発行年:2020年 / 総頁数:104頁
--	------	---

「『原爆の図』詩人ら導く」、村上真代、上毛新聞、2月16日、8面
「名画の扉」、桐生タイムス、2月24日
「名画の扉」、桐生タイムス、3月3日
「『原爆の図』制作の思いを」、上毛新聞、3月4日、18面
「記録映画も上映中」、桐生タイムス、3月8日、15面
「原爆の悲惨さ 人間で描く」、杉全美帆子、東京新聞、3月9日、15面

●定期刊行物(雑誌)
「日本の近代美術のなかの静物画」、田中淳、美術の窓、10月号、68-73ページ
「今月の展覧会」、ギャラリー、11月号、39ページ

●定期刊行物(その他)
「水道山の小さな美術館」、桐生商工だより、10月号、表紙
「水道山の小さな美術館」、桐生商工だより、2月号、表紙
「70年目の原爆の図」、新美術新聞、2月11日号、4ページ

●ウェブサイト
「EXHIBITIONS」、美術手帖
「絵画展『70年目の原爆の図』」、岩垂弘、リベラル21、2月2日

関連記事	
●新聞 「名画の扉」、桐生タイムス、10月7日 「広島市現代美術館と共催で あすから『靄光と仲間たち』展」、桐生タイムス、10月9日、16面 「大川美術館、二つの企画展」、上毛新聞、10月11日 「丸木夫妻の巡回展 51年当時の情報提供を」、上毛新聞、11月1日 「名画の扉」、桐生タイムス、11月4日 「遺族来訪し思い語る」、桐生タイムス、11月6日、16面 「戦時生きた画家 靄光中心に展示」、上毛新聞、11月10日、9面 「名画の扉」、桐生タイムス、11月18日、12面 「桐生で昭和初期絵画展」、読売新聞、11月25日 「名画の扉」、桐生タイムス、12月2日	「靄光と仲間たち」、池田知之、東京新聞、12月6日、18面 「名画の扉」、桐生タイムス、12月9日 「丸木夫妻『原爆の図』70年ぶり桐生に」、桐生タイムス、12月17日、16面 「桐生法人会が大川美に初協賛」、桐生タイムス、1月6日 「名画の扉」、桐生タイムス、1月13日、12面 「『原爆の図』70年ぶり」、上毛新聞、1月17日、24面 「『原爆の図』70年の時経て」、柳沼広幸、朝日新聞、1月18日、25面 「『原爆の図』桐生で展示」、読売新聞、1月20日、24面 「広島の惨状 墨で伝える」、池田知之、東京新聞、2月4日、16面 「『コロナ禍で見る『原爆の図』』、田中淳、読売新聞、2月6日 「めいの丸木ひさ子さん来館 位里・俊夫妻の思い出語る」、桐生タイムス、2月15日、15面

その他

Others

収集作品目録／図版

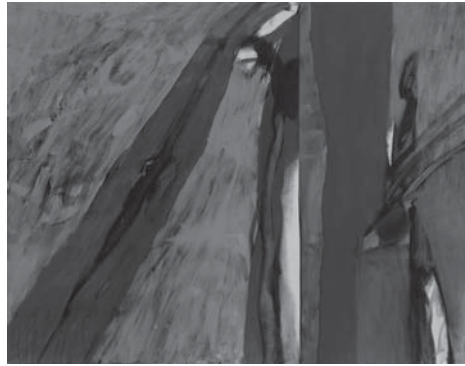
収集目録

No.	作家名 / Artist	作品名 / Title	制作年	技法・材質 / 寸法 (cm)	備考	図版番号
【寄贈・作品】						
1	野見山暁治 Gyoji Nomiya	ある日 One day	1987	油彩・キャンバス 91.7×117.1		図版1
2	鈴木たかし Takashi Suzuki	Cycle Cycle	1990(2018再制作)	ラワン合板 92.9×113.0×135.0		図版2
3	高山良策 Ryosaku Takayama	戦争シリーズ・ひろしま War Series: Hiroshima	1951-53	インク・紙 36.0×25.0(イメージ)	9点組	図版3-1~9
4	鏡木昌弥 Masaya Kaburagi	夢の洞窟にて In a Cave of Dreams	1972	鉛筆・洋紙 54.5×39.5(イメージ)		図版4
5	鏡木昌弥 Masaya Kaburagi	古い群へ Toward the Old Crowd	1978	油彩・キャンバス 65.0×100.0(イメージ)		図版5
6	鏡木昌弥 Masaya Kaburagi	ささやき Whisper	1986	油彩・キャンバス 24.3×33.4(イメージ)		図版6
7	鏡木昌弥 Masaya Kaburagi	無言の胸 Silent Breast	1988	鉛筆、アクリル、ガッシュ・和紙 67.0×51.0(イメージ)		図版7
8	鏡木昌弥 Masaya Kaburagi	小さなサーカスが再現した楽園 Paradise Replicated by a Small Circus あの馬とこの牛の間 Between Those Horses and These Cows 微熱のある馬 A Horse with a Slight Fever 反家畜、アンチ曲馬 Anti-Livestock, Anti-Equestrian 馬と木の馬 A Horse and a Wooden Horse 牛の予感 A Cow's Premonition 雨 Rain 水鳥たち Waterfowl 消えた野うさぎ A Disappearing Hare 三人の賢者と医師にやつた天使のいる聖家族 A Holy Family with Three Wise Men and Angels Disguised as Doctors だれも歌わない日 A Day When No One Sings	2013	ガッシュ、パペール・和紙 59.5×84.0(イメージ)	10点組	図版8-1~10
9	鏡木昌弥 Masaya Kaburagi	フリル・夢のように狂う Frill - Crazy Like a Dream	2016	ガッシュ、パペール・和紙 102.8×72.8		図版9
10	鏡木昌弥 Masaya Kaburagi	長い耳の犬とさっちゃん A Dog with Long Ears and Sat-chan	2019	ガッシュ、コンテ、パペール・和紙 84.0×59.5		図版10

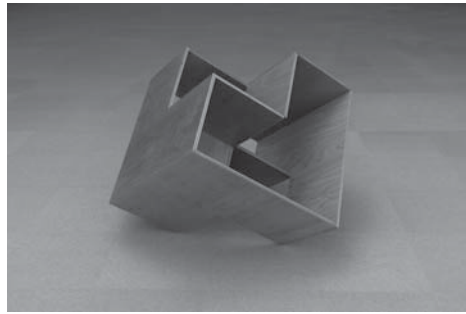
【資料】

1	森 芳雄 Yoshio Mori	〈母と子〉のためのデッサン一式 A set of drawings for Mother and Child	1987	コンテ・紙 36.0×25.0		資料図版1-1~4
2	森 芳雄 Yoshio Mori	スケッチブック「Hiroshima」 Sketchbook "Hiroshima"	1989	鉛筆・紙 15.0×18.4		資料図版2
3	加藤 立 Ryu Kato	パフォーマンス (I am a museum) 関連資料一式 A set of props for the performance I am a museum	2019	フェルト 13.5×28.0×31.0(帽子) 木 139.0×13.5×15.5(杖) アクリル絵具・キャンバス 182.0×227.5×3.5(絵画・大) アクリル絵具・キャンバス 61.5×45.5×4.0(絵画・小)		資料図版3
4	石井 茂雄 Shigeo Ishii	使者 Messenger	1958	エッチング、アクアチント・紙 27.0×35.5(イメージ)、39.8×50.5(紙)		資料図版4

図版1 | 野見山暁治(ある日)



図版2 | 鈴木たかし(Cycle)



3-5



3-6



図版3 | 高山良策(戦争シリーズ・ひろしま)

3-1



3-2



3-7



3-8



3-3



3-4



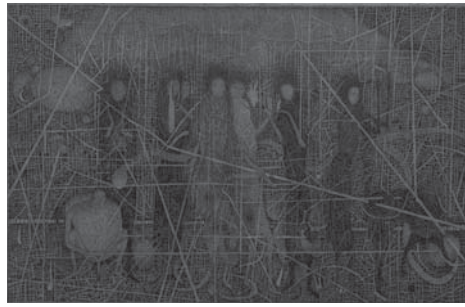
3-9



図版4 | 鏡木昌弥(夢の洞窟にて)



図版5 | 鏡木昌弥<古い群へ>



図版6 | 鏡木昌弥<ささやき>



8-4 「馬と木の馬」



8-5 「牛の予感」



図版7 | 鏡木昌弥<無言の胸>



図版8 | 鏡木昌弥<小さなサーカスが再現した楽園>

8-1 「あの馬とこの牛の間」



8-6 「雨」



8-7 「水鳥たち」



8-2 「微熱のある馬」



8-3 「反家畜、アンチ曲馬」



8-8 「消えた野うさぎ」



8-9 「三人の賢者と医師にやつした天使のいる聖家族」



8-10 「だれも歌わない日」



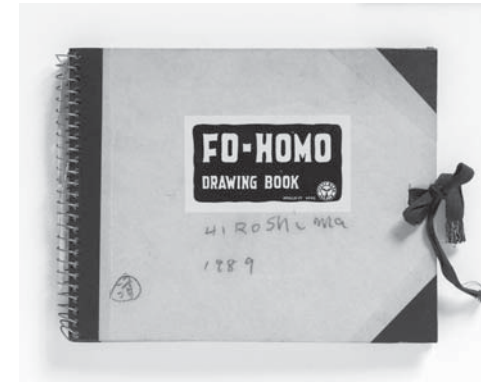
図版9 | 鍋木昌弥(フリル・夢のように狂う)



1-4



資料図版2 | 森芳雄(スケッチブック「Hiroshima」)



図版10 | 鍋木昌弥(長い耳の犬とさっちゃん)



資料図版1 | 森芳雄(母と子)のためのデッサン一式

1-1



資料図版3 | 加藤立(I am a museum)関連資料



資料図版4 | 石井茂雄(使者)



1-2



1-3



作品の貸出及び寄託記録

貸出目録

No.	作家名	作品名	展覧会名	貸出先・巡回館(会場)	展示期間	貸出期間
1	丸木位里・俊	原爆—ひろしまの図	塵は進すもの—丸木位里の宇宙	奥田元宗・小由美美術館	2020/7/2~8/16	2020/06/19-8/20
2	鏡光	静物(魚の頭)	広島市現代美術館所蔵作品を中心にPart1 鏡光と同時代の仲間たち	公益財団法人大川美術館	2020/10/10~12/13	2020/10/4~2021/3/中旬
3	鏡光	蝶				
4	鏡光	静物(柿のある)				
5	麻生三郎	裸 B				
6	麻生三郎	ひとり				
7	鶴岡政男	二人				
8	鶴岡政男	凶兆				
9	鶴岡政男	はじまり				
10	森芳雄	漂泊				
11	寺田政明	野菜など				
12	山路商	自画像				
13	山路商	冬				
14	山路商	広島風景				
15	丸木位里・俊	原爆の図 第1部「幽霊」(再制作版)	広島市現代美術館所蔵作品を中心にPart2 70年目の原爆の図	公益財団法人大川美術館	2021/1/16~3/14	
16	石内都	ひろしま#71				
17	宇治山哲平	漲りて四方に	宇治山哲平にみる「やまとごころ」	大分県美術館	2020/10/30~11/29	2020/06/24~12/17
18	横尾忠則	1945年、夏	GENKYO 横尾忠則「原爆から幻境へ、 そして現状は?」	愛知県美術館	2021/1/15~4/11	2020/12/10~2021/11(予定)
19	横尾忠則	天の足音		東京都現代美術館	2021/7/17~10/17(予定)	
20	横尾忠則	芸術と平和				
21	イサム・ノグチ	雨の山	イサム・ノグチ 発見の道	東京都美術館	2021/4/24~8/29(予定)	2021/01/26~2023/4(予定)
22	立石大河	紅虎超特急	大・タイガー立石展	千葉市美術館	2021/4/10~7/4	2021/03/31~2023/4(予定)
				青森県美術館	2021/7/20~9/5(予定)	
				高松市美術館	2021/9/18~11/3(予定)	
				埼玉県立近代美術館/うらわ美術館	2021/11/16~2022/1/16(予定)	

【寄託目録】

No.	作家名	作品名	寄託先	寄託期間
1	池田満寿夫	作品	和歌山県立近代美術館	2021/3/8~2023/4(予定)
2	池田満寿夫	たいくつな時間		
3	池田満寿夫	作品		
4	池田満寿夫	無題		
5	池田満寿夫	無題		
6	池田満寿夫	原始の太陽		
7	池田満寿夫	アフリカの女		
8	池田満寿夫	影		
9	池田満寿夫	朝の光		
10	池田満寿夫	海の音楽家		
11	池田満寿夫	作品		
12	池田満寿夫	白い岩石		
13	池田満寿夫	古代人		
14	池田満寿夫	赤の中の鳥		
15	池田満寿夫	小さな喜び		
16	池田満寿夫	表面 A		
17	池田満寿夫	男と女 1		
18	池田満寿夫	男と女 2		
19	池田満寿夫	男と女 3		
20	池田満寿夫	男と女 4		
21	池田満寿夫	男と女 5		
22	池田満寿夫	男と女 6		
23	池田満寿夫	男と女 7		
24	池田満寿夫	男と女 8		
25	池田満寿夫	男と女 9		
26	池田満寿夫	男と女 10		
27	池田満寿夫	男と女 11		
28	池田満寿夫	坐った娘		
29	池田満寿夫	女 動物たち		
30	池田満寿夫	女		

【寄託目録】

No.	作家名	作品名	寄託先	寄託期間
31	池田満寿夫	室内の女	和歌山県立近代美術館	2021/3/8~2023/4(予定)
32	池田満寿夫	退屈な朝		
33	池田満寿夫	女王		
34	池田満寿夫	瞳の中の星		
35	池田満寿夫	子供のいのり		
36	池田満寿夫	Tの肖像		
37	池田満寿夫	草むらの中		
38	池田満寿夫	女 五月		
39	池田満寿夫	S字型のヘビ		
40	池田満寿夫	急ぐ人		
41	池田満寿夫	日光浴する貴婦人たち		
42	池田満寿夫	二人の天使		
43	池田満寿夫	出を待つ天使		
44	池田満寿夫	水曜日犬の散歩		
45	池田満寿夫	動物の婚礼		
46	池田満寿夫	金曜日は雨		
47	池田満寿夫	小さな沼たち		
48	池田満寿夫	大きな沼その他の沼		
49	池田満寿夫	生徒の名はイヴ		
50	池田満寿夫	婚礼の準備		
51	池田満寿夫	恋人がやってくる		
52	池田満寿夫	昆虫採集		
53	池田満寿夫	日付のない日		
54	池田満寿夫	タエコの朝食		
55	池田満寿夫	詩集「女友達」の挿画 1		
56	池田満寿夫	詩集「女友達」の挿画 2		
57	池田満寿夫	詩集「女友達」の挿画 3		
58	池田満寿夫	詩集「女友達」の挿画 4		
59	池田満寿夫	自画像		
60	池田満寿夫	私をみつめる私		
61	池田満寿夫	静物		
62	池田満寿夫	鏡の前の女		
63	池田満寿夫	花嫁		
64	池田満寿夫	夏 1		
65	池田満寿夫	私は何も食べたくない		
66	池田満寿夫	アダムとイヴ(捕らえられたイヴ)		
67	池田満寿夫	聖なる手 1		
68	池田満寿夫	花をもつ少女		
69	池田満寿夫	私の詩人、私の猫		
70	池田満寿夫	ロマンチックな風景		
71	池田満寿夫	みつめる天使		
72	池田満寿夫	姉妹たち		
73	池田満寿夫	花園にて		
74	池田満寿夫	夏の夢		
75	池田満寿夫	シンデレラの広告		
76	池田満寿夫	バラはバラ		
77	池田満寿夫	Spring and Springs		
78	池田満寿夫	青い椅子		
79	池田満寿夫	愛の瞬間		
80	池田満寿夫	ある種の関係		
81	池田満寿夫	Something 1		
82	池田満寿夫	欲望の原理(赤)		
83	池田満寿夫	手の意味		
84	池田満寿夫	最初のドローイング		
85	池田満寿夫	夏の夢 A		
86	池田満寿夫	夏の夢 B		
87	池田満寿夫	開いたブラウス		
88	池田満寿夫	閉ざされた夜のために		
89	池田満寿夫	独身者の夢、モリスの夢		
90	池田満寿夫	アメリカの女		
91	池田満寿夫	秘められた季節		

【寄託目録】

No.	作家名	作品名	寄託先	寄託期間
92	池田満寿夫	秘められた年	和歌山県立近代美術館	2021/3/8~2023/4(予定)
93	池田満寿夫	窓からの眺め B		
94	池田満寿夫	窓からの眺め C		
95	池田満寿夫	夜		
96	池田満寿夫	南の午後		
97	池田満寿夫	中間		
98	池田満寿夫	スイート・ガーデン		
99	池田満寿夫	スイート・スイート		
100	池田満寿夫	カレンダー		
101	池田満寿夫	裸の靴		
102	池田満寿夫	ランチタイムと一緒に		
103	池田満寿夫	空からの贈物		
104	池田満寿夫	逃げる空		
105	池田満寿夫	空の部分 1		
106	池田満寿夫	ヘルリン個展のポスター		
107	池田満寿夫	椅子		
108	池田満寿夫	フタベスタからの自画像		
109	池田満寿夫	ある風景		
110	池田満寿夫	青空		
111	池田満寿夫	マリリンの半分		
112	池田満寿夫	ロベルト・セネシイ詩画集1天使が私を攪乱する		
113	池田満寿夫	ロベルト・セネシイ詩画集2天使が私を攪乱する		
114	池田満寿夫	ロベルト・セネシイ詩画集3天使が私を攪乱する		
115	池田満寿夫	ロベルト・セネシイ詩画集4天使が私を攪乱する		
116	池田満寿夫	ロベルト・セネシイ詩画集5天使が私を攪乱する		
117	池田満寿夫	ロベルト・セネシイ詩画集6天使が私を攪乱する		
118	池田満寿夫	ロベルト・セネシイ詩画集7天使が私を攪乱する		
119	池田満寿夫	ロベルト・セネシイ詩画集8天使が私を攪乱する		
120	池田満寿夫	ロベルト・セネシイ詩画集9天使が私を攪乱する		
121	池田満寿夫	私をみつめて		
122	池田満寿夫	女優		
123	池田満寿夫	天使の言葉		
124	池田満寿夫	ハートの位置		
125	池田満寿夫	黄色い空		
126	池田満寿夫	夢		
127	池田満寿夫	秘密の箱		
128	池田満寿夫	私は眠りにつける A		
129	池田満寿夫	私は眠りにつける B		
130	池田満寿夫	ステージ		
131	池田満寿夫	草原から空へ		
132	池田満寿夫	扉と窓		
133	池田満寿夫	九月 B		
134	池田満寿夫	天使よ故郷を見よ		
135	池田満寿夫	海辺の午後		
136	池田満寿夫	午後		
137	池田満寿夫	名もなきある街 タイトルページ		
138	池田満寿夫	名もなきある街 A		
139	池田満寿夫	名もなきある街 B		
140	池田満寿夫	食後 A		
141	池田満寿夫	食後 B		
142	池田満寿夫	裏庭		
143	池田満寿夫	窓に向って泳ぐ		
144	池田満寿夫	劇場の入口		
145	池田満寿夫	ウェルカム A		
146	池田満寿夫	ウェルカム B		
147	池田満寿夫	昼の景色		
148	池田満寿夫	感傷旅行		
149	池田満寿夫	七つのリトグラフ 表紙		
150	池田満寿夫	七つのリトグラフ 1		
151	池田満寿夫	七つのリトグラフ 2		
152	池田満寿夫	七つのリトグラフ 3		

【寄託目録】

No.	作家名	作品名	寄託先	寄託期間
153	池田満寿夫	七つのリトグラフ 4	和歌山県立近代美術館	2021/3/8~2023/4(予定)
154	池田満寿夫	七つのリトグラフ 5		
155	池田満寿夫	七つのリトグラフ 6		
156	池田満寿夫	ラッキーゾーン		
157	池田満寿夫	見はてぬ夢		
158	池田満寿夫	彼女の彼女		
159	池田満寿夫	マドモアゼル		
160	池田満寿夫	捕えられた女		
161	池田満寿夫	五番街 A		
162	池田満寿夫	五番街 B		
163	池田満寿夫	デューラーの恋人		
164	池田満寿夫	ホット・ハット		
165	池田満寿夫	黒馬に新しい日を 1		
166	池田満寿夫	黒馬に新しい日を 2		
167	池田満寿夫	黒馬に新しい日を 3		
168	池田満寿夫	七つの大罪 タイトル・ページ		
169	池田満寿夫	傲慢の罪		
170	池田満寿夫	吝嗇の罪		
171	池田満寿夫	邪淫の罪		
172	池田満寿夫	嫉妬の罪		
173	池田満寿夫	大食の罪		
174	池田満寿夫	怠惰の罪		
175	池田満寿夫	憤怒の罪		
176	池田満寿夫	紐		
177	池田満寿夫	マグリット夫人の涙		
178	池田満寿夫	アウグストに寄せて		
179	池田満寿夫	くずれた土		
180	池田満寿夫	蒼白なる真珠色		
181	池田満寿夫	枯れたすげ		
182	池田満寿夫	メラグラーナ		
183	池田満寿夫	春雷		
184	池田満寿夫	バラボラ		
185	池田満寿夫	胚種		
186	池田満寿夫	花をつけた灯心草		
187	池田満寿夫	マスカン		
188	池田満寿夫	或る聖書 1		
189	池田満寿夫	或る聖書 2		
190	池田満寿夫	或る聖書 3		
191	池田満寿夫	或る聖書 4		
192	池田満寿夫	貝の耳 A		
193	池田満寿夫	ミス・ベティの受難		
194	池田満寿夫	女の肖像		
195	池田満寿夫	私自身のアメリカ 1 BLOND		
196	池田満寿夫	私自身のアメリカ 2 ある出来事		
197	池田満寿夫	私自身のアメリカ 3 マダム ダヴィンチの肖像		
198	池田満寿夫	My Imagination Map 1 海の底		
199	池田満寿夫	My Imagination Map 2 鳥のネックレス		
200	池田満寿夫	My Imagination Map 3 彼女の首飾り		
201	池田満寿夫	My Imagination Map 4 少女		
202	池田満寿夫	捕らわれた天使		
203	池田満寿夫	海辺の夜		
204	池田満寿夫	ある風景		
205	池田満寿夫	白い誘惑		
206	池田満寿夫	顔 A		
207	池田満寿夫	顔 B		
208	池田満寿夫	顔 C		
209	池田満寿夫	顔 D		
210	池田満寿夫	顔 E		
211	池田満寿夫	顔 F		
212	池田満寿夫	ステージの入口		
213	池田満寿夫	ピエロたち		

【寄託目録】				
No.	作家名	作品名	寄託先	寄託期間
214	池田満寿夫	海辺にて 表紙	和歌山県立近代美術館	2021/3/8~2023/4(予定)
215	池田満寿夫	海辺にて 室内の風		
216	池田満寿夫	海辺にて カヌスの女		
217	池田満寿夫	海辺にて ダンスは嫌い		
218	池田満寿夫	海辺にて 逃げる		
219	池田満寿夫	海辺にて 彼女のバルコニー		
220	池田満寿夫	海辺にて 彼女は静物		
221	池田満寿夫	海辺にて 貝殻の椅子		
222	池田満寿夫	風景としての花嫁		
223	池田満寿夫	海のスカート		
224	池田満寿夫	表面 B		
225	池田満寿夫	女		
226	池田満寿夫	赤いセーターの女		
227	鵜嘸	現代人		
228	鵜嘸	現代の恋人		
229	磯辺行久	作品		
230	恩地孝四郎	リリックNO.2 楽曲によせる抒情 ボロディン“スケルツォ” (※2点あるうちの1点。作品番号II230)		
231	恩地孝四郎	リリックNO.2 楽曲によせる抒情 ラベル“道化師の朝歌”		
232	恩地孝四郎	リリックNO.2 楽曲によせる抒情 諸井三郎“プレリュード”		
233	鏡光	静物(魚の頭)	公益財団法人大川美術館	2021/3/中旬~2023/4(予定)
234	鏡光	蝶		
235	鏡光	静物(柿のある)		
236	麻生三郎	裸 B		
237	麻生三郎	ひとり		
238	鶴岡政男	二人		
239	鶴岡政男	凶兆		
240	鶴岡政男	はじまり		
241	森芳雄	漂泊		
242	寺田政明	野菜など		
243	山路商	自画像		
244	山路商	冬		
245	山路商	広島風景		
246	丸木位里・俊	原爆の図第1部「幽霊」(再制作版)		
247	石内都	ひろしま #71		

改修工事に伴う野外彫刻作品の移設

移設目録				
No.	作家名	作品名	移設先	移設完了日
1	井上武吉	ヒロシマ my sky hole 88-5	広島市安佐北区可部収蔵庫	2021/3/11
2	岡本敦生	Earth Call Hiroshima		
5	菅木志雄	石で囲う		
6	空充秋	根香		
7	田窪恭治	広島-1996		
8	殿敷侃	山口-日本海-二位ノ浜、お好み焼き		
9	藤本由紀夫	ECHO (HIROSHIMA)		
10	山口牧生	四角い石と丸い石たち		
11	脇田愛二郎	ねじられた錆の柱		
12	マグダレーナ・アバカノヴィッチ	ヒロシマ-錆まりしものたち		
14	フィリップ・キング	ヘッド		
15	岡本敦生	CRUST(地殻)-9		
16	岡本敦生	CRUST-cocoon 97-2	広島市立段原小学校	2021/3/24
17	フェルナンド・ボテロ	小さな鳥	広島市立五日市南小学校	2021/3/24

2020 (R2) 年度
広島市現代美術館年報

令和3年8月発行
発行 広島市現代美術館
印刷 第一美術印刷株式会社